

久里浜配水池電気室新築工事 工事設計図 令和元年8月(全23枚) 特記仕様書 1 工事概要 1. 工事場所 横須賀市久比里2丁目517番地2 (久里浜配水池) 2. 敷地面積 3,704.68 m2 3. 工事種目 工事概要 久里浜配水池 電気室新築 (電気室・倉庫 約18.5m2) 機械設備(電気室・倉庫)工事 含まない 電気設備(電気室・倉庫)工事 含む 工事内容 基礎 鉄筋コンクリート(壁高700含む) 柱梁 鉄骨(別紙参照) 外壁 ALC板(t=100)仕上塗装 建具 3種類各1か所 屋根 ガルバリウム鋼板(一文字葺き フッ素樹脂) その他 ハンドホール等 ※詳細については別紙参照をしてください。 図面リスト 図面番号 図面名称 図面番号 図面名称 01 特記仕様書(1/9) 13 鉄骨工作標準図(1) 02 特記仕様書(2/9) 14 鉄骨工作標準図(2) 03 特記仕様書(3/9) 15 柱はり接合法設計標準図 04 特記仕様書(4/9) 16 案内図・配置図 05 特記仕様書(5/9) 17 仕上表・面積表・建具表 06 特記仕様書(6/9) 18 平面図・立面図・断面図 07 特記仕様書(7/9) 19 伏図・軸組図 08 特記仕様書(8/9) 20 構造断面リスト(1) 09 特記仕様書(9/9) 21 構造断面リスト(2) 10 構造特記仕様書 22 詳細図 11 RC構造配筋標準図(1) 23 電気設備配線図 12 RC構造配筋標準図(2) 24 電気設備配線図 4. 工事範囲 ※13. 工事種目 すべてを工事範囲とする。 ※13. 工事種目 のうち 〃 の工事範囲は下表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。 2 仮設工事 工事範囲すべて 3 土工 工事範囲すべて 4 地業工事 工事範囲すべて 5 鉄筋工事 工事範囲すべて 6 コンクリート工事 工事範囲すべて 7 鉄骨工事 工事範囲すべて 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 工事範囲すべて 9 防水工事 工事範囲すべて 10 石工事 工事範囲すべて 11 タイル工事 工事範囲すべて 12 木工 工事範囲すべて 13 屋根及び外壁工事 工事範囲すべて 14 金属工事 工事範囲すべて 15 左官工事 工事範囲すべて 16 建具工事 工事範囲すべて 17 カーテンウォール工事 工事範囲すべて 18 塗装工事 工事範囲すべて 19 内装工事 工事範囲すべて 20 ユニットの工事 工事範囲すべて 21 排水工事 工事範囲すべて 22 舗装工事 工事範囲すべて 23 舗装工事及び屋上緑化工事 工事範囲すべて

II 建築工事仕様 1. 標準仕様 2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事を含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を用いる。 3. 特記仕様書の表記 (1) 項目は、番号に 〇印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項に記載のない項目は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 〇印は「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。 ① 一般共通事項 ② 工事実施情報の登録 ③ 適用区分 ④ 電気保安技術者 ⑤ 施工条件 ⑥ 発生の処理等 ⑦ 環境への配慮 ⑧ 材料の品質等 ⑨ 技術士 ⑩ 化学物質の濃度測定 ⑪ 完成時の提出図書 ⑫ 完成写真 ⑬ 他工事又は他工種との取合い ⑭ 設計GL ⑮ 仮設工事 ⑯ 監督員事務所 ⑰ 工事用水 ⑱ 工事用電力 ⑲ 理戻し及び養生 ⑳ 建設発生土の処理 ㉑ 山留めの存置 ㉒ 地業工事 ① 適用基準等 ② 適用区分 ③ 電気保安技術者 ④ 施工条件 ⑤ 発生の処理等 ⑥ 環境への配慮 ⑦ 材料の品質等 ⑧ 技術士 ⑨ 化学物質の濃度測定 ⑩ 完成時の提出図書 ⑪ 完成写真 ⑫ 他工事又は他工種との取合い ⑬ 設計GL ⑭ 仮設工事 ⑮ 監督員事務所 ⑯ 工事用水 ⑰ 工事用電力 ⑱ 理戻し及び養生 ⑲ 建設発生土の処理 ⑳ 山留めの存置 ㉑ 地業工事 ① 適用基準等 ② 適用区分 ③ 電気保安技術者 ④ 施工条件 ⑤ 発生の処理等 ⑥ 環境への配慮 ⑦ 材料の品質等 ⑧ 技術士 ⑨ 化学物質の濃度測定 ⑩ 完成時の提出図書 ⑪ 完成写真 ⑫ 他工事又は他工種との取合い ⑬ 設計GL ⑭ 仮設工事 ⑮ 監督員事務所 ⑯ 工事用水 ⑰ 工事用電力 ⑱ 理戻し及び養生 ⑲ 建設発生土の処理 ⑳ 山留めの存置 ㉑ 地業工事

⑨ 技術士 ⑩ 化学物質の濃度測定 ⑪ 完成時の提出図書 ⑫ 完成写真 ⑬ 他工事又は他工種との取合い ⑭ 設計GL ⑮ 仮設工事 ⑯ 監督員事務所 ⑰ 工事用水 ⑱ 工事用電力 ⑲ 理戻し及び養生 ⑳ 建設発生土の処理 ㉑ 山留めの存置 ㉒ 地業工事 ① 適用基準等 ② 適用区分 ③ 電気保安技術者 ④ 施工条件 ⑤ 発生の処理等 ⑥ 環境への配慮 ⑦ 材料の品質等 ⑧ 技術士 ⑨ 化学物質の濃度測定 ⑩ 完成時の提出図書 ⑪ 完成写真 ⑫ 他工事又は他工種との取合い ⑬ 設計GL ⑭ 仮設工事 ⑮ 監督員事務所 ⑯ 工事用水 ⑰ 工事用電力 ⑱ 理戻し及び養生 ⑲ 建設発生土の処理 ⑳ 山留めの存置 ㉑ 地業工事

2 既設コンクリート地盤 ① 適用基準等 ② 適用区分 ③ 電気保安技術者 ④ 施工条件 ⑤ 発生の処理等 ⑥ 環境への配慮 ⑦ 材料の品質等 ⑧ 技術士 ⑨ 化学物質の濃度測定 ⑩ 完成時の提出図書 ⑪ 完成写真 ⑫ 他工事又は他工種との取合い ⑬ 設計GL ⑭ 仮設工事 ⑮ 監督員事務所 ⑯ 工事用水 ⑰ 工事用電力 ⑱ 理戻し及び養生 ⑲ 建設発生土の処理 ⑳ 山留めの存置 ㉑ 地業工事

3 鋼杭地業	種類の記号 SKK400 寸法、継手等	(4.2.2) (4.4.2)					
	種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						
杭先端部形状	・開放形 ・半開放形 ・用そく形	(4.4.2)					
先端部の補強	・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による 先端部の補強 (補強バンド等) 及びその他付属品の材質 ・SS400と同等又はそれ以上	(4.4.2)					
施工方法	・打込み工法 (・油圧ハンマー ・ディーゼルハンマー ・プレローリングの併用 ・行わない ・行う 掘削深さ及び径 ・図示による ( )	(4.4.1) (4.2.2) (4.4.3)					
杭の精度	・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内	(4.4.3)					
試験杭	試験杭の位置 ・図示による ( ) 打込杭推定支持力の算定 ・図示による ( )	(4.4.3)					
特定埋込杭工法	・平13国交省第1113号第6による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・平13国交省第1113号第6による地盤の許容支持力式の内 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ が下記の値を採用できる工法 $\alpha=( )$ 、 $\beta=( )$ 、 $\gamma=( )$ 工法 ・中掘り拡大掘削工法	(4.4.4)					
杭の精度	・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内	(4.4.3)					
試験杭	試験杭の位置 ・図示による ( )	(4.4.5)					
杭の現場継手	・溶接継手 形状 ・JIS A 5525による 溶接材料 ・機仕 7.2.5(a) (b)による ・図示による ( )	(4.4.5) (4.4.2)					
無溶接継手 (継手に接続金具を用いた方式のもの)	工法 ・図示による ( ) 検査 ・図示による ( )	(4.4.5)					
杭頭の処理	・処理しない ・処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ・図示による ( ) 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの	(4.3.7) (4.4.6)					
掘削工法	・アースドリル工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバー工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない)	(4.5.1) (4.5.4)					
併用する工法	・掘削打ち鋼管コンクリート杭工法 ・掘削打ち鋼管コンクリート杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない)	(4.5.1) (4.5.5)					
寸法等		(4.2.2)					
	種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	
試験杭							
本杭							
鉄筋の種類							
種類の記号	呼び径 (mm)	備考					
・S3235A							
・S3345							
帯筋							
・図示による ( )							

鉄筋小径の補強	・直径1.5m以下の場合には鋼径6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼径9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ、1箇につき3箇以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する。溶接長さは、補強材の幅とする。	(4.5.3)	
鉄筋の最小かぶり厚さ	・100mm	(4.5.3)	
鉄筋の重ね継手長さ、主筋の基礎底盤への定着長さ	・図示による ( )	(4.5.3~4.5.5)	
セメントの種類	・高炉セメントB種 □	(4.5.3)	
コンクリートの種類	・A種 ・B種 ・審査 (評定又は大臣認定) された内容による	(4.5.3)	
コンクリートの設計基準強度	・図示による ( )	(4.5.3)	
構造体強度補正値	・ $\Delta f_c$ (mm) ・図示による ( ) ・審査 (評定又は大臣認定) された内容による	(4.5.3)	
鋼管巻き材料	SKK400 SKK490	(4.2.2) (4.5.4) (4.5.5)	
試験杭	試験杭の位置 ・図示による ( )	(4.5.4) (4.5.5)	
孔壁測定	測定箇所 ・試験杭 ( ) 箇所及び本杭 ( ) 箇所	(4.5.4) (4.5.5)	
杭の精度	・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内	(4.5.4) (4.5.5)	
材料	・再生クラッシュランダム ・切込砂利及び切込砕石	(4.6.2)	
砂利厚さ	・ $\phi 60$ mm	(4.6.3)	
適用箇所	・基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下 ・図示による ( )	(4.6.4)	
推コンクリートの厚さ	・ $\phi 50$ mm	(4.6.4)	
施工範囲	・基礎梁下、土に接するスラブ下 ・図示による ( )	(4.6.4) (6.14.1)	
設計基準強度	・ $\phi 18$ mm <sup>2</sup>	(4.6.4) (6.14.1)	
スラブ	・ $\phi 15$ cm又は18cm	(4.6.4) (6.14.1)	
材料	・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上	(4.6.2)	
施工範囲	・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピットを除く)	(4.6.5)	
種類及び施工方法等	・図示による ( )		
鉄筋の種類		(5.2.1)	
種類の記号	呼び径 (mm)	備考	
・S3235A	※016以下		
・S3345	※019以上		
形状等		(5.2.2)	
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄筋の径 (mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			
継手方法等		(5.3.4) (5.5.2) (5.5.3)	
部位	継手方法	呼び径 (mm)	
柱、梁の主筋	・ガス圧接 (019 以上) ・機械式継手 ・溶接継手	※019以上	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	※016以下	
その他の鉄筋	・重ね継手	※016以下	
耐力壁の重ね継手の長さ	・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2)) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3))	(5.3.4)	
継手位置図	・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1, 6.1, 7.1, 7.3, 8.1)	(5.3.4)	
鉄筋の定着方法及び長さ	鉄筋の定着方法 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b))	(5.3.4)	
鉄筋の定着の長さ	・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b))	(5.3.4)	

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1)	(5.3.5)
往及び梁の主筋に0.2以上使用の有無	・無し ・有り 適用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する	(5.3.5)
軽量コンクリートで土に接する部分	・無し ・有り 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm	(5.3.5)
耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等)	・無し ・有り 適用箇所 ( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm	(5.3.5)
鉄筋相互のあき (機械式継手及び溶接継手を除く)	・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)	(5.3.5)
使用箇所	・図示による ( ) H12告示第1483号に適合する性能 ・A種 機械式継手の種類及び工法 ( ) 鉄筋相互のあき ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)	(5.5.2) (5.5.2) (5.3.5)
品質の確認方法	・図示による ( )	(5.5.2)
不良となった継手の修正方法等	・図示による ( )	(5.5.2)
使用箇所	・図示による ( ) H12告示第1483号に適合する性能 ・A種 鉄筋相互のあき ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 4.1)	(5.5.3) (5.3.5)
継手の工法	・図示による ( )	(5.5.3)
品質の確認方法	・図示による ( )	(5.5.3)
不良となった継手の修正方法等	・図示による ( )	(5.5.3)
各部配筋	各部配筋 ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) )	(5.3.7)
9 圧接完了後の試験	外観試験 ・図示による ( ) 採取試験 ・図示による ( ) 試験ロット: 1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする	(5.4.9) (5.4.10) (5.4.9) (5.4.10)
① コンクリートの乾燥単位容積質量による種類及び強度	・普通コンクリート 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ (mm) 適用箇所	(6.2.1~6.2.4)
② コンクリートの種類	・軽量コンクリート 設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ (mm) 適用箇所	(6.2.1~6.2.3) (6.10.1~6.10.2)
③ セメント	種類 ・普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) ・高炉セメントB種 □ ・フライアッシュセメントB種 □	(6.2.1) (6.3.1)
④ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ・A ・B	(6.3.1)
⑤ 混和剤	混和剤の種類 ・図示による ( ) ・図示による ( )	(6.3.1)

⑥ 乾燥単位容積質量	・普通コンクリート ・ $\phi 31$ /m <sup>3</sup> 程度 ・軽量コンクリート	(6.2.3) (6.10.1)
7 軽量コンクリート	種類 ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示による ( )	(6.10.1)
8 兼中コンクリート	適用箇所 ・図示による ( ) ・積算温度を基に定める場合 ・図示による ( )	(6.11.1)
9 兼中コンクリート	構造体強度補正値 ※ $\Delta f_c$ /mm <sup>2</sup>	(6.12.2)
10 マスコンクリート	適用箇所 ・図示による ( )	(6.2.1) (6.13.1)
⑩ 無筋コンクリート	セメントの種類 ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 □ ・フライアッシュセメントB種 □ ・普通ポルトランドセメントに標準仕様書6.13.2(b) (2)の混和剤を混合したもの	(6.13.2)
12 流動化コンクリート	混和剤の種類 ・図示による ( ) ※JIS A 6204に適合するAE減水剤または高性能AE減水剤	(6.13.2)
13 ひび割れ誘発目地 打継目地	スラブ ※15cm 設計基準強度 ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ ※15cm 又は 18cm 適用箇所 ・図示による ( ) ※標準仕様書6.14.1(a)による箇所 ・図示による ( )	(6.14.1) (6.14.1) (6.2.1) (6.14.1)
⑪ コンクリートの仕上り	目地寸法 ・標準仕様書9.7.3による 間隔、位置、形状 ・図示による ( )	(6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) (6.8.2)
⑫ 打増し厚さ (打増し仕上げ部)	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・図示による ( ) 合板せき板を用いるコンクリートの打増し仕上げ ・図示による ( )	(6.2.5) (6.8.3)
⑬ 型枠	合板せき板を用いるコンクリートの打増し仕上げ 種別 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 建築物体 (土木構造躯体部分も含む)	(6.8.3) (6.8.3) (6.8.3)
⑭ コンクリートの単位水量測定	打増し厚さ ・20mm ・10mm ・20mm ・図示 せき板の材料及び厚さ ・合板 (※12mm) 断熱材の兼用 ・行わない ・行う NRC工法用シート ・用いる 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による ( ) ・用いない	(6.8.3) (6.8.3) (6.8.3)
設計図	02/23	
工事名	久里浜配水池電気室新築工事	
工事場所	横須賀市久里浜2丁目517番地2	
図面名称	特記仕様書 (2/9)	
図面番号	久里浜-18C4	
施工業者		
令和元(2019)年 8月		
課長		
原紙用紙サイズ A1		
横須賀市上下水道局技術部水道施設課		
計画課	私道 無	



3 防水工事	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1, 2)	種別	施工箇所	使用材料	断熱材種別	仕上材料	高圧水圧試験の適用
	4 塗膜防水	防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1, 2)	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用	
4 塗膜防水	5 ケイ酸系塗布膜防水	防水層の種類 (9.6.1, 3) (表9.6.1, 2)	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用	
	6 脱気装置	防水層の種類 (9.2.3) (表9.2.3)	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用	
10 石工事	1 施工	石材の割付け (10.1.3) (表10.1.3)	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用	
	2 石材等	天然石 (10.2.1, 3) (表10.2.1, 2)	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用	

3 外壁工法	3 外壁工法 (10.2.2, 3) (表10.2.2, 3)	石裏面処理	適用する	適用しない						
	4 内装工法	内装工法 (10.2.2) (表10.2.2, 3)	石裏面処理	適用する	適用しない					
5 乾式工法	5 乾式工法 (10.2.2) (表10.2.2, 3)	取付け方法	スライダ方式	ロッキング方式						
	6 床及び階段の石張り	床石張りの裏面処理 (10.6.2, 3) (表10.6.2, 3)	石裏面処理	適用する	適用しない					
7 アーチの石張り	7 アーチの石張り (10.2.2) (表10.2.2, 3)	取付け方法	内装工法	乾式工法						
	8 窓水、甲板等の石張り	窓水、甲板等の石張り (10.2.2) (表10.2.2, 3)	取付け方法	外装工法	乾式工法					
11 タイル工事	1 伸縮調整目地及びひび割れ調整目地	位置 (11.1.1) (表11.1.1)	位置	標準仕様書表11.1.1による						
	2 セラミックタイル張り	タイルの形状、寸法等 (11.2.2, 3) (表11.2.2, 3)	施工箇所	種別	寸法	厚さ	吸水率	形状	色	目地

3 接着剤による陶磁器タイル張り	3 接着剤による陶磁器タイル張り (11.3.2~4) (表11.3.2~4)	タイルの形状、寸法等	施工箇所	種別	寸法	厚さ	吸水率	形状	色	目地	備考																	
	4 陶磁器タイル伸縮調整目地	位置 (11.4.2, 3) (表11.4.2, 3)	位置	標準仕様書表11.4.2による																								
1 表面仕上げ	1 表面仕上げ (12.1.1) (表12.1.1)	表面仕上げの種類	種別	施工箇所	仕上材料	保護層	高圧水圧試験の適用																					
	2 製材	「製材の日本農林規格」による下地用製材 (12.2.1) (表12.2.1)	施工箇所	種別	寸法	等級	形状	含水率	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防カビ処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理	防蛇処理	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理
3 造作用集材	3 造作用集材 (12.2.1) (表12.2.1)	「集材の日本農林規格」による造作用集材	施工箇所	種別	寸法	等級	形状	含水率	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理	防蛇処理										
	4 造作用集材	「集材の日本農林規格」以外の造作用集材	施工箇所	種別	寸法	等級	形状	含水率	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理	防蛇処理										

4 造作用集材	4 造作用集材 (12.2.1) (表12.2.1)	「集材の日本農林規格」以外の造作用集材	施工箇所	種別	寸法	等級	形状	含水率	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理	防蛇処理
	5 床張り用合板	「製材の日本農林規格」による床張り用合板 (12.5.1) (表12.5.1)	施工箇所	種別	寸法	等級	形状	含水率	防虫処理	防蟻処理	防湿処理	防汚処理	防炎処理	防臭処理	防藻処理	防鳥処理	防鼠処理	防蛇処理
設計図	設計図 (04/23)	工事名	久里浜配水池電室新築工事															
	工事場所	横須賀市久比里2丁目517番地2																
図面名称	図面名称	特記仕様書 (4/9)																
	図面番号	久比里-18C4																
施工業者	施工業者	令和元(2019)年8月																
	課長	[署名]																
原紙用紙サイズ	原紙用紙サイズ	A1																
	計画課	私道 無																



12 木工事

6 接着剤  
接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。  
ホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外

7 防蟻・防蟻処理  
・防蟻・防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材  
適用部位：( )  
・薬剤の加工による防蟻・防蟻処理  
適用部位：( )  
保存処理性能区分  
・K2 ・K3 ・K4  
・K2 ・K3 ・K4  
・K2 ・K3 ・K4  
・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理  
適用部位：( )  
処理の方法  
※標準仕様書12.3.1(9)～(11)による  
・ボード原料接着材への薬剤混入による防蟻・防蟻処理  
適用部位：( )

13 屋根及びびい工事

1 長尺金属板葺  
屋根の耐久性能、めっき付着量等の種類及び記号

屋根	葺き方	屋根材	耐久性能	めっき付着量	種類及び記号
※JIS G 3322の屋根用コイル	※JIS G 3322の屋根用コイル	心木なし瓦葺 立平葺 横葺 横葺 ○文字葺			

下葺材料 ・アスファルトルーフィング940  
・改質アスファルトルーフィング下葺材  
(一般タイプ ・ 複層葺材タイプ ・ 粘着層付タイプ)

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない  
重止め ・ 設置する (図示)

2 折板葺

屋根	形式	山高・山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	耐風圧	耐雪荷重	耐火性能
屋根	重箱形 はげ縮形 かん合形	150 500	JIS G 3322 ( ) 種	鋼板葺 アルミ 合金板葺	1.0	○有り ○無し	○30分 ○無し	

材料 板及びコイルの種類 ( )  
屋根の耐久性能、めっき付着量等の種類及び記号 ( )

断熱材 ・ 有り (種類： ) 厚さ (mm)： 耐火性能： 時間) ・ 無し

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない

3 粘土瓦葺

屋根	種類	葺き方	耐久性能	めっき付着量	種類及び記号
瓦葺	※杉又はひのき	葺き方	耐久性能	めっき付着量	種類及び記号

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない

瓦葺木 材質 ※杉又はひのき  
寸法 ※幅21×高さ15(mm)  
棟補強用材 材質 ※杉又はひのき  
寸法 ※幅40×高さ30(mm)

工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない

瓦葺木の骨付工法 ※図示

棟の工法 ・7寸丸伏せ棟 ・のし一休棟 ・のし積み棟

4 とい

どの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管  
ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外

鋼管等との防露巻き  
・適用する (工法：※標準仕様書13.5.5による) ・ 適用しない

ルーフトレン

種類	適用部位
・ろくろ型用 (・縦型 ・ 横型)	
・バルコニー用	
・バルコニー中継用	

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ  
種類 施工箇所 (手すり、タラップ、建具以外) (14.7.1)  
※風圧度 下記以外の見逃しありすべし  
・最高仕上程度  
・No.25程度

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理  
種類 皮膜又は複合皮膜の種類 施工箇所 (成形板、笠木、建具以外) (14.2.2) (表14.2.1)

種類	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所
・A-1種	※AA15	
・A-2種 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)	※AA15	
・B-1種	※B	
・B-2種 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)	※B	
・C-1種	※AA6	
・C-2種 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)	※AA6	
・D種		

陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・ 三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種類	施工箇所 (手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	
電気亜鉛めっき	・E種 ・F種	

① 軽量鉄骨天井下地  
野縁等の種類 屋外 ※25型 ・ 19型 屋内 ※19型 ・ 25型 (14.4.2~4) (表14.4.1)  
・屋外の軒天井、ピロティ天井等  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない  
野縁、吊りボルト、インサートの間隔及び野縁部からの距離 ※図示  
周辺部の端からの間隔 ・ 図示  
野縁の間隔 ・ 図示

5 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14.5.3) (表14.5.1)  
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示

6 金属成形板張り

種類	製法	形状	板幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	皮膜等の種類
・押し出し	スパンプレ					・B-1種 ※B ・B-2種 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ※B
・プレス	パネル形					・B-1種 ※AA6 ・C-1種 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) ※AA6 ・D種

取付用下地 ※標準仕様書14.4による ・ 図示  
伸縮調整継手 ・ 設ける (施工箇所) ・ 図示 ・ 設けない

7 アルミニウム製笠木

種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ 100形 (14.7.2) (表14.7.1)

表面処理 種類 ( ) 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色 (・アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー)

笠木の固定金具の工法等  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ) 1.15 ( ) 1.3 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)  
・適用しない

8 手すり及びタラップ

手すり ・ ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※風圧度 ・ No.25程度) (14.8.2.3) ・ 鋼製 (表面処理 ・ 溶融亜鉛めっき種) ( )

タラップ ・ ステンレス製 SUS 304 (表面処理 ※風圧度) ( ) ・ 鋼製 (表面処理 ・ 溶融亜鉛めっき種) ( )

15 左官工事

1 モルタル塗り

既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示) ( ) (15.2.2.5) ・ 設けない

床目地 ・ 設ける (工法※押し目地) ( ) ・ 設けない

外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験  
・適用する  
・適用しない

・防水剤

15 左官工事

2 床コンクリート直均し仕上げ

3 セルフレベリング剤塗り

4 仕上塗材仕上げ

5 下地以外の仕上げは、(4)の仕上塗材による (15.3.2) (表15.3.2)

種類	呼び名	防虫防蟻剤	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗料SI ・可とう形外装薄塗料SI ・外装薄塗料E ・可とう形外装薄塗料E ・防水形外装薄塗料E ・外装薄塗料S ・内装薄塗料C ・内装薄塗料L ・内装薄塗料SI	・砂壁状 ・ゆず肌状 (吹付け ・ ローラー塗り) ・さざ波状 ・平坦状 ・凹凸状 (吹付け ・ こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (吹付け ・ こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・家壁状じゅらく	・吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない ・耐湿性 ・ 適用する ・ 適用しない
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗料C ・外装厚塗料SI ・外装厚塗料E ・内装厚塗料C ・内装厚塗料L ・内装厚塗料SI ・内装厚塗料E	・吹放し ・凹凸状 (ひき起し ・ かき落とし)	・吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない ・上塗材 ・ 適用する ・ 適用しない
・夏層仕上塗材	・夏層塗料E ・可とう形夏層塗料E ・夏層塗料S	・ゆず肌状 ・凹凸状 ・凹凸状	・凹凸状 ・凹凸状
・夏層仕上塗材	・夏層塗料E ・夏層塗料S ・夏層塗料E ・夏層塗料S ・夏層塗料E ・夏層塗料S	・上塗材 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種	・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種 ・耐水性 ※耐水性3種
・夏層仕上塗材	・夏層塗料E ・夏層塗料S	・増塗材	・増塗材

5 ALCパネルの場合の  
下地処理

6 マスチック塗料塗り

7 ロックウール吹付け

8 鋼製軽量建具

9 ステンレス製建具

10 防炎戸

11 見本の製作等

12 防犯建物部品

13 アルミニウム製建具

14 防炎戸

15 見本の製作等

16 防犯建物部品

17 アルミニウム製建具

16 網戸等

種類	材質	網目
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS 316) 製	※0.25mm以上 ※16~18メッシュ
・防風網	ステンレス (SUS 304) 編材	網目寸法15mm

性能等級 (16.3.2~5)

外部に面する建具 ・ A種 (建具符号：※建具表による) ( )  
・ B種 (建具符号：※建具表による) ( )  
・ C種 (建具符号：※建具表による) ( )

防音ドアセット・防音サッシ  
・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・ T-2) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

断熱ドアセット、断熱サッシ ( )  
・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・ H-5) ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

枠の見込み寸法  
表面色 ※標準色 ・ 特注色  
水切り板、せん板 ※図示  
ガラス ※複層ガラス

17 鋼製建具

性能等級 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)

外部に面する建具の耐風圧性 ( )  
・適用する (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

防音ドアセット・防音サッシ  
・適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

断熱ドアセット、断熱サッシ ( )  
・適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

耐震ドアセット  
・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

18 鋼製軽量建具

性能等級 (16.2.2) (16.5.2~4)

外部に面する建具の耐風圧性 ( )  
・適用する (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

防音ドアセット・防音サッシ  
・適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

断熱ドアセット、断熱サッシ ( )  
・適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

耐震ドアセット  
・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

19 ステンレス製建具

性能等級 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~4)

外部に面する建具の耐風圧性 ( )  
・適用する (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

防音ドアセット・防音サッシ  
・適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

断熱ドアセット、断熱サッシ ( )  
・適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

耐震ドアセット  
・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号：※建具表による) ( )  
・適用しない (建具符号： ) ( )

設計図 05/23

工事名

久里浜配水池電気室新築工事

工事場所

横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称

特記仕様書 (5/9)

図面番号

久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

原紙用紙サイズ A1

10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	(16.7.2~4)
	・フラッシュ戸 表面材の合板の種類	
	合板の種類	規格等
	・普通合板 (C)	表面の繊維 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度・ 不透明塗料塗り (※しな合板程度・ 板面の品質 ( ) 接着の程度 (1種・2種)
	・天然木化粧合板 (C)	繊維名 ( ) 接着の程度 (1種・2種)
	・特殊加工化粧合板 (C)	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) 接着の程度 (1種・2種) タイプ
	表面材の厚さ ※表16.7.6による	
	・かまち戸 かまち側 ( ) 鏡板側 ( ) 見込み寸法 ※36mm ・建具表による	
	・ふすま 張りの種類 (1型・11型) 上張り・鳥の子・新島の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度 縦仕上・塗り鏡・生地鏡 (素地) ・生地鏡 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による	
	・戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	
	・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	
	枠、くつずりの材料 ・建具表による	
11 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16.8.3による 振り玉、レバー・ハンドル、押板類、クレーセントの取付位置 ◎建具表による 鏡板側 ◎建具表による クローザ類 ◎建具表による	(16.8.2,3)
12 鏡	マスターキー ・製作する ◎製作しない その他の鏡 ※各室3本1組 鏡箱 ※有り ◎無し	(16.8.4)
13 自動ドア開閉装置	自動ドア	(16.9.2,3)
	・SSLD-1 ※標準仕様書表16.9.1による	性能
	・SSLD-2	防錆
	・DSLD-1	センサーの種類
	・DSLD-2	深緑防止
	・SMD-1 ※標準仕様書表16.9.2による	・マトリクススイッチ
	・SMD-1	・光線 (反射) スイッチ
	・図示	・数値スイッチ
		・音波スイッチ
		・電圧スイッチ
		・電流スイッチ
		・タッチスイッチ
		・押しボタンスイッチ
		・ペダルスイッチ
		・多機能使用スイッチ
14 自閉式上り引戸装置	性能 ※標準仕様書表16.10.1による	(16.10.3)
15 重量シャッター	シャッターの種類 ・一般重量シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 閉鎖機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (消磁歪れめつき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装消磁歪れめつき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12	(16.11.2,3)
16 軽量シャッター	閉鎖形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> スラットの材質 めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装消磁55%アルミニウム-亜鉛合金めつき鋼板) めっき付着量 (※Z90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	(16.12.2~4)
17 オーバーヘッドドア	セクション材料 による区分	(16.13.2,3)
	※ステールタイプ	耐風圧区分 (Pa)
	・アルミニウムタイプ	開閉方式による区分
	・ファイバークラス タイプ	取新形式による区分
	・125	・スタンダード形 ※消磁歪れめつき鋼板
	・100	・チェーン式
	・75	・ローヘッド形
	・50	・電動式
		・ハイリフト形
		・パーチカル形

18 ガラス	・合わせガラス (9.7) (16.14.2~4) (表16.14.1)	
	品 種	構成種類
	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス
	・網入磨き合わせガラス	・熱線吸収、フロート板合わせガラス
		・網入磨き、フロート板合わせガラス
		・網入磨き、熱線吸収合わせガラス
	強化ガラス	種 類
	材料ガラスによる種類	性 能
	・フロートガラス	・フロート強化ガラス
	・強化ガラス	・熱線吸収強化ガラス
	・熱線吸収強化ガラス	・型強化ガラス
	品 種	性 能
	・熱線吸収フロートガラス	1種 ・2種
	・熱線吸収網入磨きガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
	複層ガラス	品 類
	品 類	断熱性
	・断熱複層ガラス	1種
		2種
		3種
		4種
		5種
	・日射熱減へい複層ガラス	断熱性
		1種
		2種
		3種
		4種
		5種
	熱線反射ガラス	品 類
	品 類	日射熱へい性
	・熱線反射ガラス	1種
	・色調 (ブルー ・ グレー)	2種
	・高性能熱線反射ガラス	3種
	・色調 (ブロンズ ・ シルバー)	4種
	反射被膜面 ・ 内面 ・ 外面	5種
	映像調整 ・ 行わない ・ 行う	
	倍強度ガラス	品 類
	材料ガラスによる種類の名称	色 調
	・フロート倍強度ガラス	—
	・熱線吸収倍強度ガラス	・グレー ・ ブルー ・ ブロンズ
	ガラスの留め材及び溝の大きさ	
	留め材の種類	ガラス留め材
	アルミニウム製	◎シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形
	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材
	ステンレス製	・シーリング材
	表面形状	呼び寸法
	・正方形	厚さ
	・長方形	色 調
		クリア乳白
		半透明
		半透明
		内側
		伸縮調整
		目地 (mm)
		防火性能
	曲面種みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・ 設ける (形状 ※図示) ・ 設けない カサ 材質 ※ステンレス鋼 (SUS 304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状及び防錆 化粧目地モルタルの色 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示	(16.14.5)
	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない 目地部のカサの補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示	

17 カーテンウォール工事	1 取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)	
	取付方法 ・ 開閉方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式	
	性能	
	断熱性能	水密性
	気密性	遮音性
	断熱性	耐火性
	耐火性	耐温度変化 (°C)
	永年劣化率 (劣化) 垂直方向 (劣化)	・0.5
	・0.5	・30分
		・1時間
	耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない	
	主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く)	状/箇
	支間距離 (m)	耐風圧性能
	4m以下	・たわみ量が±(1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること
	4mを超える	部材の脱落、ガラスの破損及び 主要部材に有害な歪みが生じること。
	層間変位係数 建築物の構造種別	層間変位係数 (h=支間距離)
	鉄骨造	・±(1/200) × h以上
	鉄骨コンクリート造	・±(1/300) × h以上
	鉄骨鉄筋コンクリート造	シリング材は補修程度の損傷であること。
	シーリング材 下表以外は標準仕様書表9.7.11による	シーリング材の種類
	建築体の組合せ	図号
	ガラス	主成分による区分
	ガラス	石、タイル
	ガラス	カーテンウォール張目地
	構造用金具 ・適用する (施工箇所 ・ 図示) 材質 ・ タロブレン系 ・ EPDM系 ・ シリコン系 形状 ・ 棒形 ・ Y型 ・ C型 寸法 (mm) ガラス板厚 ( ) ・ 支持棒の長さ ( ) ・ ウェブの寸法 ( ) ・適用しない	
	断熱材 (図) 種類 ( ) 厚さ (mm) ( ) 施工箇所 ・ 図示	
	耐火材料	種 別
	施工部位	規格等
	・ファスター部	
	・取付けブラケット	
	・パネル目地部	
	・層間ふさぎ	
	カーテンウォールの材料 (17.2.2,3,5)	
	材 料	規格等
	※アルミニウム製	・A-1種 ・ A-2種 皮膜等の種類 (※標準仕様書 表14.2.11による) 着色 (・アンバー ・ ブロンズ ブラック系 ・ ステンカラー)
	製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.2.1~3による ガラス溝の寸法、形状 ※製造所の仕様による	
	カーテンウォールの材料 (17.3.2~5)	
	コンクリート ※標準仕様書表17.3.2(a) (i) ~ (iv) による 鉄筋 ※SD295A (・D13 ・ D10) 補強鉄筋の径 (mm) ※3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 配筋 ※図示 先付けの材料 ・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル ・ 石材 (・花こう岩 ・ 大理石)	
	ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ・h=1~2、W及びD=±1 製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表17.3.1~2による	

18 塗装工事	①材料 (18.1.3)	屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※室内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする (箇所: )
	②素地ごしらえ (18.2.2~7)	下地面等
		種 別
		木部
		不透明塗料塗りの場合
		透明塗りの場合
		鉄鋼面
		亜鉛めっき鋼面
		モルタル面及びプラスター面
		コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面
		せつこうボード面及び「目地」裏目処理工法
		その他ボード面
		目地:裏目処理工法以外
		③錆止め塗料塗り (18.3.2,3)
		下地面等
		工程の種別
		塗料の種類
		鉄鋼面
		見え隠れ部分
		見え隠れ部分
		亜鉛めっき鋼面
		鋼製器具以外
		④塗装 (18.4.1~18.4.2)
		塗 装
		種 別
		塗料の種類
		・合成樹脂塗料
		木部屋外
		木部屋内
		ペイント塗り (SOP)
		鉄鋼面
		亜鉛めっき鋼面
		・クリヤラッカー塗り (L)
		・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)
		鉄鋼面
		亜鉛めっき鋼面
		コンクリート面及び押出成形セメント板面
		コンクリート面等
		つや合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)
		屋内の鉄鋼面
		・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)
		・合成樹脂エマルジョン塗料塗り (EP-1)
		・ウレタン樹脂ワニス塗り (U)
		・ラッカーエナメル塗り (L)
		・オイルステイン塗り (OS)
		・木材保護塗料塗り (WP)
		屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗料 (E)とする。

設 計 図 06/23

工 事 名

久里浜配水池電気室新築工事

工 事 場 所

横須賀市久比里2丁目517番地2

図 面 名 称

特記仕様書 (6/9)

図 面 番 号

久比里-18C4

施 工 業 者

令和元(2019)年 8月

課 長

原紙用紙サイズ A1

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計 画 課

私 道 無

1 接着剤 (19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外  
 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

2 ビニルシート (19.2.2.3)

種類	JIS記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
発泡層のないもの	※F (複層)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐薬品性	※2.0	
発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法 ・実付け (施工箇所: )

特殊機能  
 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満  
 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10<sup>9</sup>~10<sup>10</sup> Ω程度

3 ビニル床タイル (19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ (mm)	備考
・FT (複層)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・KT (コンポジション)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	・2.0 ・3.0	
・FMA (置き敷き)		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防汚性		

4 ビニル幅木 (19.2.2)

材質 ・軟質 ・硬質  
 高さ (mm) ※60 ・70 ・100  
 厚さ (mm) ※1.5以上

5 ゴム床タイル (19.2.2)

色柄 ( )  
 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0  
 寸法 (mm) ( )

6 カーペット敷き (19.3.3) (表19.3.1)

種類	パイル形状	パイル長さ (mm)	色柄等	帯電性	備考
・A種	・カットパイル	・5~7	・ワイルドランカーペット	・適用する (性能: ※人体帯電圧3kV以下)	
・B種	・ループパイル	・4~6	・ダブルフェースカーペット	・適用しない	
・C種	・カット、ループ併用		・アキミンスターカーペット (標準品)		

下敷き材 ※羊毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

・タフテッドカーペット (19.3.3~4)

パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5~7	※全面接着工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧3kV以下)	
・ループパイル	・4~6	・グリッパー工法	・適用しない	
・レベルループパイル	・4			
・カット、ループ併用				

下敷き材 (グリッパー工法の場合)  
 ※羊毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ8mm

・ニードルパンチカーペット (19.3.3)

厚さ (mm) ( )  
 帯電性 ・適用する (性能: ※人体帯電圧3kV以下)  
 ・適用しない

備考 ( )

・タイルカーペット (19.3.3.4)

パイル形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ※第二種		※500×500	※6.5	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	

タイルカーペットの敷き方 平層 ※市松敷き ・覆層  
 階段部分 ※模様の表し ・市松敷き

見切り、押え金物 ・適用する (材質、形状等 ※図示)  
 ・適用しない

7 合成樹脂塗床 (19.4.2.3) (表19.4.1~7)

種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 異性ウレタン樹脂塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材		・薄層浸し層べ工法 ・厚膜浸し層べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・薄膜型塗床材 アクリル樹脂塗床材 (JIS K 5970)			工程 塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ) 表面仕上げ ・平滑 ・防汚 溶剤 ・水性系 ・溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (19.4.2)

8 フローリング張り (19.5.2~7) (表19.5.1~6)

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ (mm)	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	・15	幅75 板長さ 500以上	・塗装品 ・無塗装品	
	・釘留め工法 (直張り)	※なら	・12以上	幅75 板長さ 300以上		
	・接着工法	※なら	・12以上	幅75 板長さ 300以上		
・フローリングブロック	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	
	・モルタル埋込み工法	※なら	※15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	
・モザイクパーケット	・接着工法				・塗装品 ・無塗装品	

天然木化粧複合フローリング (19.5.2~7) (表19.5.1~6)

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	種類	防湿処理	仕上塗装	間伐材等の適用
・複合1種フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら		・A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	
・複合2種フローリング	・釘留め工法 (直張り)	※なら					
・複合3種フローリング	・接着工法	※なら					

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外  
 接着工法の場合の接着材 ※合成樹脂発泡シート  
 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所: )  
 ※ウレタン樹脂フニス塗り  
 ・オイルステインの上、ワックス塗り  
 ・生地のままワックス塗り  
 ・行わない

9 畳敷き (19.6.2) (表19.6.1)

種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (畳床: ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)  
 下地の種類 ・標準仕様書 表12.6.11による床版  
 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム) (19.6.2.3)  
 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスフェノールAを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

10 セッコボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2.3) (表19.7.1)

種類	JIS記号	厚さ (mm)	規格等
・燃費毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25	
・中質毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25	
・普通毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25	
・燃費木片セメント板	HW	・12 ・15 ・18 ・21	
・普通木片セメント板	HW	・30	
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2 (無石綿)	・6 ・8
・ロックウール化粧板	BR		・フラットタイプ (-9 (不燃) ・12 ( ) ・凹凸タイプ (-12 (不燃) ・15 ( )
・ロックウール吸音ボード1号	HW-B	・25	
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)	
・セッコボード	GW-R	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	(19.8.2.3)
・不燃複層セッコボード	GW-RK	9.5 (不燃) 化粧面 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	
・シーリングセッコボード	GW-S	12.5 (不燃)	
・強化セッコボード	GW-T	・12.5 (不燃) ・15 (不燃)	
・セッコガラスボード	GW-L	9.5	
・化粧セッコボード (木目)	GW-D	12.5 (不燃) 幅40mm程度 模様の目、板目、板目専用下地材有り	
・化粧セッコボード (トラバーチン模様)	GW-D	9.5 (準不燃)	

・普通合板 (19.9.2.3)

表面の種類	厚さ (mm)	備考
・表面の種類		
・生地の透明塗料塗り (※ラフ程度)		
・不透明塗料塗り (※しな程度)		
・表面の品質 ( )		
・厚さ (mm) ( )		(19.9.2.3)
・接着の程度 ( )		
・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理		

・天然木化粧合板 (19.9.2.3)

樹種	厚さ (mm)	備考
・樹種		
・接着の程度 (-1種 ・2種)		
・厚さ (mm) ( )		
・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理		

・特殊加工化粧合板 (19.9.2.3)

化粧加工の方法	厚さ (mm)	備考
・化粧加工の方法 (・オーバーレイ ・プリント ・塗装)		
・表面性能 ( ) タイプ		
・接着の程度 (-1種 ・2種)		
・厚さ (mm) ( )		
・防虫処理 ・難燃処理 ・防火処理		

・メラミン樹脂化粧板  
 ・ポリエステル樹脂化粧板  
 ・アクリル樹脂化粧板 (JIS K 5903) による厚さ (※12. )

・繊維強化プラスチックボード (19.9.2.3)

種類	厚さ (mm)	備考
・繊維強化プラスチックボード	・3 ・7 ・9 ・12	
・繊維強化プラスチックボード	・10 ・12 ・15 ・18	
・繊維強化プラスチックボード	・10 (難燃) ・12 (難燃)	

・ハードボード (床材) (19.9.2.3)

種類	厚さ (mm)	備考
・ハードボード (床材)	・2.5 ・3.5 ・5 ・7	
・ハードボード (化粧)	・9 ・12 ・15 ・18	

・ウレタンボード (19.9.2.3)

種類	厚さ (mm)	備考
・ウレタンボード	・9 ・12 ・15 ・18	

11 壁紙張り

セッコボード等の下地は図示による。  
 遮音シール材 ・適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)  
 ・適用しない

合板類、MF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量  
 ※規制対象外  
 合板類の張付け ※B種 ・A種  
 セッコボードの目地工法 ・仕上げ表による

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	
						・不燃・準不燃	

モルタル・プラスチックの裏地ごしらえ ※B種 ・A種  
 コンクリート・ALC面の裏地ごしらえ ※B種 ・A種  
 セッコボード面の裏地ごしらえ ※B種 ・A種

12 断熱材 (19.8.2.3)

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量  
 ※規制対象外

・断熱材打込み工法

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ビス留ポリスチレンフォーム断熱材		
・接着剤付ポリスチレンフォーム断熱材 (スキナシ)	・保溫板 (2種D) ・25 ・保溫板 (3種D) ・25	・接地部分
・A種接着剤付フェノールフォーム断熱材		
・フェノールフォーム保溫材 (3種2号を除く)		

・断熱材現場発泡工法  
 断熱材の種類 ※A種1 ・B種1  
 厚さ (mm) ・25 ・30  
 施工箇所 ・図示

13 フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構造	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
	・パネル構造 ・溝構造	・500×500		・1.00 ・0.66	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

帯電防止性能 (0値) ・0.5以上 ・1.2以上  
 帯電防止性能 (漏えい抵抗 R) ≥1×10<sup>9</sup> Ω  
 寸法精度  
 ※標準仕様書20.2.2(b) (5) (i) ~ (iii) による  
 厚さ ±0.5mm  
 平坦度 パネル間隙部 1.0mm以下  
 凹心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上げ材の品質、性能は、標準仕様書19章による。  
 構成材の材質 ・アルミニウム製 ・鋼製 (仕上げ)  
 スロープ及びボラーダー ・製造所の仕様による ・図示  
 配線取り出しパネル  
 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ・20~30パーセント  
 配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上  
 ・図示  
 空調吹き出し (暖い込み) パネル ・なし ・あり (形式、施工箇所: 図示)

2 可動間仕切 (20.2.3)

構造形式	構成材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上げ		遮音性能 (dB/500Hz)	防火性能
	スタッド	パネル		材質	厚さ (mm)		
・スタッド式 (内蔵)			・鋼板	・0.6	・メラミン樹脂	・0	・不燃
・スタッド式 (露出)				・0.8	・焼付又はアクリル樹脂塗付け ・壁紙張り	・12 ・20 ・28 ・36	
・スタッドパネル式							
・パネル式							

パネル内に取付ける建具 ・あり (※図示) ・なし  
 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による

3 移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法	圧縮装置の種類	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性能 (dB/500Hz)
				材質	厚さ (mm)	
・平行方向	・手動式	・フック式		・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上
・移動式	・電動式	・ハンドル式				
・二方向移動式	・部分電動式					

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能 標準仕様書19章による  
 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする  
 ハンガーレールの取付け下地の補強  
 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。  
 ・図示

4 トイレブース (20.2.5)

表面材の材質	扉		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
・メラミン樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂化粧板	※幅木タイプ	・標準	・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材

5 後発障害者用床タイル (11.2.2) (19.2.2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)		厚さ (mm)
		幅	長さ	
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・300×300	・7.0
	・磁器質タイル ・セッコ質タイル ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・300×300	
屋外	・磁器質タイル ・セッコ質タイル ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・300×300	

ブロックパターンは JIS T 9251 による

6 階段滑り止め (20.2.6)

材質	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製 (SUS 304) ・ビニルタイヤ入り	・約35	※接着工法 ・埋込み工法	・あり ・ステンレス製
			・なし

7 手すり (20.2.6)

材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
※集積材	・クリヤラッカー	・35 ・45		
・ステンレスパイプ	・HL			
・鋼製パイプ	・EP-4 ・SOP			
・ビニル製ハンドレール				

設計図 07/23

工事名 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所 横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称 特記仕様書 (7/9)

図面番号 久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

原紙用紙サイズ A1

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課 私道 無

8	扉板及び ホワイトボード	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>・扉板</td> <td>※焼付け</td> <td>※黒</td> <td>・平面 ・曲面</td> </tr> <tr> <td>・ホワイト ボード</td> <td>※ほうろう</td> <td>白</td> <td>・平面 ・曲面</td> </tr> </table>	種別	寸法 (mm)	色	形状	・扉板	※焼付け	※黒	・平面 ・曲面	・ホワイト ボード	※ほうろう	白	・平面 ・曲面																														
種別	寸法 (mm)	色	形状																																									
・扉板	※焼付け	※黒	・平面 ・曲面																																									
・ホワイト ボード	※ほうろう	白	・平面 ・曲面																																									
9	表示	<p>取付箇所 ( )</p> <p>寸法 (mm) ・図示</p> <p>厚さ (mm) ※5</p>																																										
10	表示	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・衝突防止表示 (両面・片面)</td> <td>・ステンレス製 ・図示</td> <td>・30φ</td> <td>・市販品</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・室名札</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ピクトグラフ</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・とびら番号</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・庁舎案内板</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・各階案内板</td> <td>・アクリル板 ・図示</td> <td>・5</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>○建物銘板</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 標準標準、非常用出入口表示等は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。</p>	区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考	・衝突防止表示 (両面・片面)	・ステンレス製 ・図示	・30φ	・市販品	・図示		・室名札	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示		・ピクトグラフ	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示		・とびら番号	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示		・庁舎案内板	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示		・各階案内板	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示	
区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考																																							
・衝突防止表示 (両面・片面)	・ステンレス製 ・図示	・30φ	・市販品	・図示																																								
・室名札	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示																																								
・ピクトグラフ	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示																																								
・とびら番号	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示																																								
・庁舎案内板	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示																																								
・各階案内板	・アクリル板 ・図示	・5	・図示	・図示																																								
11	煙突ライニング	<p>煙突用成形ライニング材 ・適用する ・適用しない</p> <p>適用安全使用温度 ・400℃ ・650℃</p> <p>キャスタブル耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする</p>																																										
12	ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅 (mm)</th> <th>ボックスレールの材質</th> <th>寸法</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>・手動</td> <td>※手動 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・手動</td> <td>※本操作コード ・本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ☐</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	寸法	取付箇所	備考	・横型	・手動	※手動 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金	※25	※鋼製	・図示	・図示		・縦型	・手動	※本操作コード ・本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金	・図示	・図示																
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックスレールの材質	寸法	取付箇所	備考																																				
・横型	・手動	※手動 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金	※25	※鋼製	・図示	・図示																																					
・縦型	・手動	※本操作コード ・本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金	・図示	・図示																																					
13	ロールスクリーン	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ポリエステル</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>巻き取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。</p>	材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示																															
材質	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考																																							
・ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示																																								
14	カーテン	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまみひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(階層)</td> </tr> </table> <p>使用される繊維のうち、ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品については ☐ とする 階層カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・手引き ・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまみひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(階層)																														
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																							
・シングル ・ダブル	・手引き ・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまみひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(階層)																																							
15	カーテンレール	<p>材質 ※アルミニウム製 ・ステンレス製</p> <p>形式 ・シングル ・ダブル</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※アルマイト</p> <p>形状 ※角形</p>																																										
16	ブラインドボックス及び カーテンボックス	<p>横幅×高さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示</p> <p>材質 ・集成材 (仕上げ) ・アルミニウム製 押出し型材 (市販品)</p> <p>表面処理 ・C-1 ・C-2 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)</p> <p>塗装等の種類 ※標準仕様書表14.2.11による</p> <p>鋼製 (仕上げ)</p>																																										

17	天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外装</th> <th>内装</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・目地タイプ</td> <td>・隠蔽タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	外装	内装	・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・目地タイプ	・隠蔽タイプ ・目地タイプ													
材質	寸法	形式	外装	内装																					
・アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・目地タイプ	・隠蔽タイプ ・目地タイプ																					
18	床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形 ・給湯防止形</td> <td>・屋内外用 ・隠蔽タイプ</td> </tr> </table>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・給湯防止形	・屋内外用 ・隠蔽タイプ															
材質	寸法	形式	備考																						
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・密閉形 ・給湯防止形	・屋内外用 ・隠蔽タイプ																						
19	耐震スリット	<table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直方向 ・水平方向</td> <td>・完全 (全貫通型) ・非耐火型</td> <td>・耐火型 ・無し</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地</p> <table border="1"> <tr> <th>目地</th> <th>内装</th> <th>外装</th> </tr> <tr> <td>・シーリング材 (見え隠れ部のみ)</td> <td>・シーリング材 (見え隠れ部のみ)</td> <td>・シーリング材 (内外とも)</td> </tr> </table> <p>目地寸法 (mm) ※縦20×深さ10</p> <p>目地材の材質は標準仕様書表9.7.2による</p>	方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考	・垂直方向 ・水平方向	・完全 (全貫通型) ・非耐火型	・耐火型 ・無し	・有り ・無し		目地	内装	外装	・シーリング材 (見え隠れ部のみ)	・シーリング材 (見え隠れ部のみ)	・シーリング材 (内外とも)							
方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考																					
・垂直方向 ・水平方向	・完全 (全貫通型) ・非耐火型	・耐火型 ・無し	・有り ・無し																						
目地	内装	外装																							
・シーリング材 (見え隠れ部のみ)	・シーリング材 (見え隠れ部のみ)	・シーリング材 (内外とも)																							
20	止水板	<p>形式 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式</p> <p>施工箇所 ・図示</p>																							
21	エキスポンション ジョイント金物	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>クリアランス</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り ( ) ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p>	材質	クリアランス	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ( ) ・無し																
材質	クリアランス	耐火性能	備考																						
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ( ) ・無し																							
22	くつきマット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>受け棒</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS 304) 製</td> <td>・ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材質	受け棒	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS 304) 製	・ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																		
材質	受け棒	備考																							
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS 304) 製	・ステンレス鋼 (SUS 304) ・硬質アルミニウム合金																								
23	遮し合ユニット	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・遮し合</td> <td>W D H</td> <td rowspan="2">市販品 トランプ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・コンロ合</td> <td>W D H</td> <td rowspan="2">市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つり戸棚</td> <td>W D H</td> <td rowspan="2">市販品</td> </tr> <tr> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・700</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・水切り</td> <td>W D H</td> <td rowspan="2">市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> <tr> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・700</td> </tr> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による</p> <p>形状 ※図示</p>	材質	寸法 (mm)	備考	・遮し合	W D H	市販品 トランプ付き 天板ステンレス製	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・コンロ合	W D H	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・600	・550 ・600 ・650	・つり戸棚	W D H	市販品	・1200 ・900	・450 ・700	・水切り	W D H	市販品 ステンレス製 ・1段式	・1200 ・900 ・600	・700
材質	寸法 (mm)	備考																							
・遮し合	W D H	市販品 トランプ付き 天板ステンレス製																							
	・1200 ・1500 ・1800		・550 ・600 ・650																						
・コンロ合	W D H	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																							
	・600		・550 ・600 ・650																						
・つり戸棚	W D H	市販品																							
	・1200 ・900		・450 ・700																						
・水切り	W D H	市販品 ステンレス製 ・1段式																							
	・1200 ・900 ・600		・700																						
24	線竿	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製 ・同一断面型</td> <td>・テーパー型 ・ロープ型</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・同一断面型	・テーパー型 ・ロープ型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式												
材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																				
・アルミニウム合金製 ・同一断面型	・テーパー型 ・ロープ型		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式																					
25	線竿受金物	材質 ・ステンレス製 (SUS 304)																							
26	車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式室内型 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・標準品 ・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	材質	径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	・上下式室内型 ・標準品 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製																	
形式	材質	径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																						
・上下式室内型 ・標準品 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製																								
27	フェンス	<p>フェンスの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニル被覆エキスパンドフェンス</li> <li>・樹脂塗装メッシュフェンス</li> <li>・鋼管フェンス</li> <li>・アルミフェンス</li> </ul> <p>高さ ・図示</p>																							
28	プレキャストコンクリート	<p>コンクリートの設計基準強度</p> <p>※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>3</sup>を満足する割合強度</p> <p>・図示</p> <p>配筋</p> <p>※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。</p> <p>・図示</p> <p>取付け方法</p> <p>※図示</p>																							

29	間知石及びコンクリート 間知ブロック積み	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方</p> <p>目塗り ・図示</p> <p>伸縮目地 材質 ・図示</p> <p>厚さ ・図示</p>	材質	種類	質量区分	備考	・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩		・A ・B													
材質	種類	質量区分	備考																			
・間知石 ・花こう岩 ・凝灰岩		・A ・B																				
30	鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>耐荷重による種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	耐荷重による種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種														
種類	規格等	耐荷重による種類																				
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																				
31	屋内掲示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩化ビニルシート張り</p>																				
32	洗面カウンター	<p>材質 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材:集成材) ・人工大理石</p> <p>奥行 (mm) ・約450 ・約600</p>																				
33	防塵垂れ壁	<p>・固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (埋込み型) ・可動式 (天井取付型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込み型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (埋込み型) ・可動式 (天井取付型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井張り
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																			
※網入り磨き板ガラス ・網入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																			
種類	材質	高さ (mm)	備考																			
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (埋込み型) ・可動式 (天井取付型)																			
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井張り																			
34	収納家具	<p>材質 形状・寸法 ※図示</p> <p>合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※須知対象外 ・第三種</p>																				
35	屋外掲示板	<p>照明器具 ※有り ・無し</p> <p>施設 ※有り ・無し</p>																				
36	敷地境界石	<p>種類 ※コンクリートブロック製 (市販品)</p> <p>・花こう石類 (文字印号等入り)</p> <p>設置方法</p> <p>根切り底を突き締めたらえ、厚さ60mmの砂利地盤を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。建て込みは監督職員の立会いのもと行う。</p> <p>コンクリートの割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度</p>																				

21	排水工事	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>管の種類</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・透心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管 (1種)</td> <td>・B形管</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU</td> <td>・図示</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・RS-WU (電)</td> <td>・図示</td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ・図示</p> <p>砂利地盤に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (1) ・図示</p> <p>砂利地盤に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (2) ・図示</p> <p>硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤</p> <p>コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14)</p> <p>設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>とする。</p> <p>ただし、コンクリートが脆弱な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。</p> <p>・図示</p>	材質	管の種類	形状	呼び径	備考	・透心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管		・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU	・図示		・図示		・RS-WU (電)	・図示		・図示	
材質	管の種類	形状	呼び径	備考																			
・透心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	・B形管		・図示																			
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU	・図示		・図示																			
	・RS-WU (電)	・図示		・図示																			
2	側溝、排水溝等	<p>側溝、排水溝等</p> <p>形状及び寸法 ・図示 (透過型(塩化ビニル))</p> <p>砂利地盤に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (1) ・図示</p> <p>砂利地盤に用いる材料 ※標準仕様書 (21.2.3) (a) (2) ・図示</p> <p>コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14)</p> <p>設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>とする。</p> <p>ただし、コンクリートが脆弱な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。</p> <p>・図示</p>																					
3	鋼鉄製ふた	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>備</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製マンホールふた</td> <td>・水形 ・簡易密閉型 (パッキン式) ・密閉型 (テーパーパッキン式) ・中ふた付密閉型 (テーパーパッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会JAS-S209による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	備	備考	鋼鉄製マンホールふた	・水形 ・簡易密閉型 (パッキン式) ・密閉型 (テーパーパッキン式) ・中ふた付密閉型 (テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会JAS-S209による											
名称	種類	適用荷重	備	備考																			
鋼鉄製マンホールふた	・水形 ・簡易密閉型 (パッキン式) ・密閉型 (テーパーパッキン式) ・中ふた付密閉型 (テーパーパッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は (公社) 空気調和衛生工学会JAS-S209による																			
4	グレーチング	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>運動のつき (付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用</td> <td>・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・鋼目 ・鋼目</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> <td>・凹凸形 ・平坦形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用</td> <td>・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・鋼目 ・鋼目</td> <td>・ ( ) ・ ( )</td> <td>・凹凸形 ・平坦形</td> </tr> </table>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	運動のつき (付着量)	上面形状	・鋼製	・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・鋼目 ・鋼目	・ ( ) ・ ( )	・凹凸形 ・平坦形	・ステンレス製	・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・鋼目 ・鋼目	・ ( ) ・ ( )	・凹凸形 ・平坦形
材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	運動のつき (付着量)	上面形状																	
・鋼製	・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・鋼目 ・鋼目	・ ( ) ・ ( )	・凹凸形 ・平坦形																	
・ステンレス製	・受付け、溝ふた (鋼製用) ・ポルト固定 ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・溝ふた (鋼製用) ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・鋼目 ・鋼目	・ ( ) ・ ( )	・凹凸形 ・平坦形																	
5	街きよ、磁石、側溝	<p>街きよ、磁石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・磁石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた</td> <td>・図示 ・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>地盤の材料 ※標準仕様書 (4.6.2) (a) による ・図示</p> <p>砂利地盤の厚さ ※100 (mm) ・図示</p> <p>コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 (6.14)</p> <p>設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>とする。</p> <p>ただし、コンクリートが脆弱な場合の割合 (容積比) セメント1:砂2:砂利4程度とする。</p> <p>・図示</p>	種類	形状、寸法	・磁石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示 ・図示 ・図示 ・図示																	
種類	形状、寸法																						
・磁石 ・L形側溝 ・U形側溝 ・U形側溝ふた	・図示 ・図示 ・図示 ・図示																						
6	埋戻し土	<p>※B種</p>																					

設計図 08/23

工事名

久里浜配水池電気室新築工事

工事場所

横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称

特記仕様書 (8/9)

図面番号

久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

原紙用紙サイズ A1

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課

私道 無



22 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料 (22.2.3.3.5) (表22.2.3.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・底土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・建設汚泥から再生した処理土 (9)</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td>・遮断層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン (9) ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・明示</td> </tr> </table> <p>路床安定処理          ・追加材料による安定処理          種類          ・普通ポルトランドセメント          ・高炉セメントB種 (9)          ・フライアッシュセメントB種          ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( )          添加量          kg (目標値) ・5以上          ・ジオテキスタイル          単位面積質量          ・60g/m<sup>2</sup>以上          厚さ (mm)          ・0.5~1.0          引張強さ          ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上          透水係数          ・1.5×10<sup>-10</sup> cm/sec以上</p> <p>試験          砂の粒度試験          ・行う          ・行わない          路床土の支持力比 (CBR) 試験          ・行う          ・行わない          路床締固め度の試験          ・行う          ・行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・底土	・A種 ・B種 ・C種 ・建設汚泥から再生した処理土 (9)	・明示	・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・明示	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン (9) ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・明示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・明示		
	種別	材料	厚さ (mm)																
・底土	・A種 ・B種 ・C種 ・建設汚泥から再生した処理土 (9)	・明示																	
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・明示																	
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン (9) ・クラッシュヤラン ・切込み砂利 ・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)	・明示																	
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量6%以下)	・明示																	
2 路床	<p>路床の厚さ          ・明示          路床材料          ・砕石          ・再生クラッシュヤラン (9)          ・クラッシュヤラン軟弱スラグ (9)          ・明示</p> <p>試験          路床締固め度の試験          ・行う          ・行わない</p>																		
3 アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ ※明示 (22.4.2~6) (表22.4.1.5)	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※明示 (22.4.2~6) (表22.4.1.5)</p> <p>材料          アスファルト          ・再生アスファルト (9) ・ストレートアスファルト          骨材          ・道路用砕石          ・アスファルトコンクリート再生骨材 (9)</p> <p>加齢アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>地域</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・一般地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基層</td> <td>・一般及び寒冷地域</td> <td>・密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・細粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>粗粒度アスファルト混合物 (20)</td> </tr> </table> <p>シーコート施工          ・行う          ・行わない</p> <p>試験          アスファルト混合物等の抽出試験          ・行う          ・行わない          舗装の平坦性          ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	区分	地域	種類	表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13)	基層	・一般及び寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)		・細粒度アスファルト混合物 (13F)			粗粒度アスファルト混合物 (20)	
	区分	地域	種類																
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物 (13)																	
	・寒冷地域	・細粒度アスファルト混合物 (13)																	
基層	・一般及び寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物 (13F)																	
		・細粒度アスファルト混合物 (13F)																	
		粗粒度アスファルト混合物 (20)																	
4 コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装の厚さ (22.5.2~4, 6) (表22.5.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車道部</td> <td>・明示 ・150</td> </tr> <tr> <td>歩道部</td> <td>・明示 ・70</td> </tr> <tr> <td>転圧コンクリート</td> <td>車道部</td> <td>・明示 ・150</td> </tr> </table> <p>縦断立下り寸法等          ・明示</p> <p>材料          コンクリート          ・標準仕様書表22.5.2による          ・使用しない          早強セメント          ・使用する          埋入目地材料          ※弾力性タイプ          ・高弾力性タイプ          転圧コンクリートの工法          ※明示</p> <p>試験          種類、間隔、構造          ※標準仕様書表22.5.4及び表22.5.1による          ・明示          コンクリート版厚さの試験          ・行う          ・行わない</p>	舗装の種類	部位	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車道部	・明示 ・150	歩道部	・明示 ・70	転圧コンクリート	車道部	・明示 ・150							
舗装の種類	部位	厚さ (mm)																	
コンクリート舗装	車道部	・明示 ・150																	
	歩道部	・明示 ・70																	
転圧コンクリート	車道部	・明示 ・150																	
11 カラー舗装	<p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(C) による) (22.6.2~4) (表22.6.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>車道部の基準</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・加熱系</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・無し</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・有</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・常温系</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・無し</td> <td>・明示</td> </tr> <tr> <td>・石油樹脂系混合物</td> <td>・有</td> <td>・明示</td> </tr> </table> <p>舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 (22.4.2(C) による)          材料          添加する材料          ・着色骨材 ( ) ・自然石 ( )          配合          結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量          樹脂系混合物、ニート工法及び塗布工法の配合等</p>	種類	部位	車道部の基準	厚さ (mm)	・加熱系	・アスファルト混合物	・無し	・明示	・石油樹脂系混合物	・有	・明示	・常温系	・アスファルト混合物	・無し	・明示	・石油樹脂系混合物	・有	・明示
種類	部位	車道部の基準	厚さ (mm)																
・加熱系	・アスファルト混合物	・無し	・明示																
	・石油樹脂系混合物	・有	・明示																
・常温系	・アスファルト混合物	・無し	・明示																
	・石油樹脂系混合物	・有	・明示																
6 透水性アスファルト舗装	<p>透水性アスファルト舗装 (22.7.2.3.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>ストレートアスファルト</td> <td>・明示</td> </tr> </table> <p>試験          透水性アスファルト混合物等の抽出試験          ・行う          ・行わない          舗装の平坦性          ※著しい不陸がないもの</p>	材料	厚さ (mm)	ストレートアスファルト	・明示														
材料	厚さ (mm)																		
ストレートアスファルト	・明示																		

7 透水性アスファルト舗装 (9)	舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない																																												
	<p>8 ブロック舗装 (22.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※普通平板 (M)</td> <td>※300角</td> <td>・80</td> <td>※砂</td> <td>表面加工 ・新ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・透水平板 (P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>歩道部に使用するコンクリート平板は (9) (再生材料を用いた舗装用ブロック) とする。          透水平板は (9) (透水性コンクリート) とする。          仕上がり面の平坦性          ※歩行に支障のないものとし、コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>9 砂利敷き (22.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種 (施工範囲: )</th> <th>B種 (施工範囲: )</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・明示 ・道路</td> <td>・明示 ・遊歩道</td> </tr> </table> <p>10 路面標示用塗料 (22.9.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・1種 (9)</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・白</td> <td>・150</td> <td>・1.0</td> </tr> <tr> <td>・2種 (9)</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td>・100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・3種</td> <td>溶解</td> <td>粉体状</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(9) 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※普通平板 (M)	※300角	・80	※砂	表面加工 ・新ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	・透水平板 (P)			・モルタル		種別	A種 (施工範囲: )	B種 (施工範囲: )		・明示 ・道路	・明示 ・遊歩道	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1種 (9)	常温	液状	・白	・150	・1.0	・2種 (9)	加熱			・100		・3種	溶解	粉体状		
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																									
※普通平板 (M)	※300角	・80	※砂	表面加工 ・新ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																									
・透水平板 (P)			・モルタル																																										
種別	A種 (施工範囲: )	B種 (施工範囲: )																																											
	・明示 ・道路	・明示 ・遊歩道																																											
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																																								
・1種 (9)	常温	液状	・白	・150	・1.0																																								
・2種 (9)	加熱			・100																																									
・3種	溶解	粉体状																																											

23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等 (23.1.3)	<p>土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験          水溶性塩類 (EC) の試験          ・行う          ・行わない</p>																																																									
	2 植栽基盤の整備 (23.2.2) (23.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・葉張り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>(※100・120・150)</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満</td> <td>・明示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>(※80・100)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m以上~7m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(※60・80)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(※50・60)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※芝、地被類 ※日埋          ・明示          ・明示</p> <p>植栽基盤の排水設備          ・設ける (※明示)          ・設けない</p> <p>3 植込み用土 (23.2.3)          ※現場発生土の良質土 ・客土</p> <p>4 土壌改良材 (23.2.3)</p> <p>・パーク造肥 (9)          施工箇所          使用量          ※補栽範囲          補栽基盤面積1m<sup>2</sup>あたり ( ・50 )</p> <p>・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) (9)          施工箇所          使用量          ※補栽範囲          補栽基盤面積1m<sup>2</sup>あたり ( ・10 )</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、補栽試験の結果、害が認められないものとする</p> <p>5 樹木 (23.3.2)          樹種、寸法、株立数等 ※明示</p> <p>6 支柱 (23.3.2.3)          支柱材          ※太 (間伐材) (9) ・真竹          防蟻処理方法          ※加圧式防蟻処理丸太材          形式          ・明示</p> <p>7 幹巻き用材料 (23.3.2)          材料          ※幹巻き用テープ          ・わら及びこも</p> <p>8 芝 (23.4.2)          種類          ※コウライシバ ・ノシバ          芝張り工法          平地          ・目地張り          ・べた張り          法面          ・目地張り          ・べた張り</p> <p>9 収付け種 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/m<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10 地被類 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>11 新植、移植樹木、芝等の枯保証 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7)          新植樹木 (芝張り、収付け種及び地被類を含む) の枯保証の期間          ※引渡しの日から1年 ・無し          移植樹木の枯保証を行う期間          ※引渡しの日から1年 ・無し</p> <p>12 屋上緑化 (9) (23.5.2.3)</p> <p>植栽基盤及び材料 (23.5.2.3)</p> <p>・屋上緑化システム          土壌層の厚さ          ・明示          排水層          ・軽骨材 (厚さ: )          植込み用土          ※改良土          ・人口軽量土          樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数、寸法等 ※明示          見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※明示</p> <p>・屋上緑化軽量システム (23.5.3)          芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※明示          見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※明示</p> <p>工法 (23.5.4)          建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法          ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)          ・適用しない          支柱          ・設置する (形式 ・明示 )          かん水装置          ・設置する (種類 ・明示 )</p>	植栽	工法	有効層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する	・B種	(※100・120・150)	・植栽部分	・適用しない	・C種	樹高7m以上~12m未満	・明示		・D種	(※80・100)					樹高3m以上~7m未満					(※60・80)					樹高3m未満					(※50・60)			種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上			樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数			
植栽	工法	有効層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																							
・樹木	※A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する																																																							
	・B種	(※100・120・150)	・植栽部分	・適用しない																																																							
	・C種	樹高7m以上~12m未満	・明示																																																								
	・D種	(※80・100)																																																									
		樹高3m以上~7m未満																																																									
		(※60・80)																																																									
		樹高3m未満																																																									
		(※50・60)																																																									
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m <sup>2</sup> )	備考																																																								
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上																																																										
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																								

設計図 09/23

工事名

久里浜配水池電気室新築工事

工事場所

横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称

特記仕様書 (9/9)

図面番号

久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課

私道 無

原紙用紙サイズ A1

構造特記仕様書 2015年度版

§1 一般事項

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の優先順位は下記による。
1) 本特記仕様書
2) 設計図
3) 標準図
4) 仕様書
5) 日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。
1-6 梁貫通位置、径、及び箇所数は( )で示す。
1-7 その他

§2 構造計算ルート

- 2-1 方向 構造計算ルート
X ルート1 ルート2 ルート3
Y ルート1 ルート2 ルート3
2-2 鉄筋の継手
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
\* 建築基準法施行令第73条(政令第73条第2項)による仕様規定
\* 日本建築学会 JASS5(2009)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
\* 日本建築学会 RC規準2010
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、政令第73条の仕様規定によりJASS5(2009)、鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2010とすることができる。

§3 仮設工事、土工事

- 3-1 山留め、根切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土
盛土
残土処分

§4 地業工事

Table with columns: 場所, 捨てコンクリート厚さ, 厚さ. Rows include 基礎, 地中梁, 構造スラブ, 土間スラブ.

注(1) アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
(2) 埋戻しは100以上とする。

- 4-2 設計耐力 長期 kN/m^2 短期 kN/m^2 終局 kN/m^2
地耐力載荷試験
4-3 地盤改良
4-4 既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭

- 1) 杭
PHC杭
ST杭
SC杭
PRC杭
鋼管杭
2) 工法
打撃工法
埋込み工法

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考. Rows for 3) 杭径, 設計耐力, 本数表(設計図による).

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭頭補強
かご筋
スタッド溶接
杭外周溶接

4-5 場所打鉄筋コンクリート杭、場所打鋼管コンクリート杭

- 1) 工法
アースドリル工法
リバース工法
BH工法
2) 杭径, 設計耐力, 本数表(拡底部は施工図を示す)

Table with columns: 杭径(拡底部)mm, 管径mm, 長期kN, 短期kN, 終局kN, 本数, 備考. Rows for 3) 杭先埋深さ, 4) 孔壁測定(2方向), 5) 使用材料.

- 3) 杭先埋深さ G-L-m
4) 孔壁測定(2方向)
5) 使用材料

- 4-6 杭打地業共通事項
1) 杭先決定用先行杭
2) 載荷試験
3) S-L蓋布

§5 鉄筋工事

5-1 材種

Table with columns: 種類, 径, 継手. Rows include ①SD295A, ②SD345, ③SD390, ④SD490, 溶接金網, 高強度せん断補強筋.

- 5-2 溶接継手
溶接部の検査(第三者機関による) 外観検査全般
抜取り検査
引張り試験
超音波探傷試験
熱間圧抜き試験

- 5-3 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
5-4 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として

- 5-3 梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。
5-4 その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として

§6 コンクリート工事

- 6-1 設計基準強度(N/mm^2)
1) セメント
2) 粗骨材
3) 躯体

- 4) 土間コンクリート
5) 捨てコンクリート
6) 防水押さえコンクリート
7) かさ上げコンクリート
6-2 混和材
注1. 混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたものを使用する。

Table with columns: 箇所, 基礎・地中梁, 一般, 備考. Rows include スランプ, 水セメント比, 単位水重量, 単位セメント量.

- 6-4 試験(躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う)
1) 骨材
2) フレッシュコンクリート
3) 躯体のせき取り外し時期決定圧縮試験
4) コンクリートコア抜き取り圧縮試験
5) マスコンクリートのひび割れ照査
6) 単位水重量測定

- 6-5 鋼合(補正値は工事費に含む)
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度F\_d
短期(18) 標準(24) 長期(30) 超長期(36)
鋼合管理強度 F\_m = Max(F\_o, F\_d) + S S=3~6
材齢28日の鋼合強度Fは下記の式で満足するものとする。
F ≥ F\_m + 1.73σ σ ≥ 0.85F\_m + 3σ

- 6-6 せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)
コンクリート 15℃以上 3日 17日
の材齢による 5℃以上 5日 25日
場合 0℃以上 8日 28日
圧縮試験による場合 5N/mm^2 0.85F\_oまたは12N/mm^2 設計強度

- 6-7 住宅性能表示
劣化等級
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さ
が異なる場合があるので注意すること。

- 6-8 F\_o36を超える高強度コンクリートは別記特記仕様書(JASS5等)による。

§7 鉄骨工事

7-1 材種及び使用箇所

Table with columns: 規格名称, 鋼材名, 柱, 梁, 大梁, プレス, 小梁, 床. Rows include 一般構造用圧延鋼材, 溶接構造用圧延鋼材, 建築構造用圧延鋼材, 一般構造用角形鋼管, 冷間成形角形鋼管, 熱間成形角形鋼管, 一般構造用炭素鋼管, 一般構造用軽量形鋼管, 建築構造用圧延鋼材.

7-2 高力ボルト

Table with columns: 高力ボルトの種類, 使用箇所. Rows include トルシヤ形高力ボルト, JIS形高力ボルト, 溶融亜鉛メッキ高力ボルト, 超高力ボルト.

7-3 普通ボルト、アンカーボルト

- 1) 材質
2) 大臣認定仕掛(メーカー仕様による)
7-4 頭付きスタッド

Table with columns: 径, 長さ(mm), 使用箇所. Rows include 16φ, 19φ, 22φ.

7-5 溶接材料

- 1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相応したものを選定する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6 スカラップ形状

- 7-7 継手

Table with columns: 柱, 梁. Rows include フランジ, ウェブ.

- 7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤ、入熱量及びバス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技能検定付試験を受ける。
3) AW検定(工場・現場・代替タブ)の有資格者で、係員の承認を受けた者は技能検定付試験を免除する。

- 7-9 テッキプレート(単位:mm)
1) 床用
2) 合成スラブ用
3) 型枠用
4) 防錆処理

- 7-10 錆止め塗装(工増費 \* 2回 \* 1回、現場タッチアップ程度とする)
1) 素地こしらえ
2) 錆止め塗料

Table with columns: 適用, 塗料, 種別, 標準膜厚. Rows include 屋外, 室内, 船, クロムフリー錆び止め, 一般用錆止めペイント, ジンクリッチプライマー, シアナムド錆止めペイント.

- 3) 溶融亜鉛メッキ
4) 常圧亜鉛メッキ

7-11 溶接部の検査(受入検査)

- 1) 受入検査を行う第三者検査機関は、建築士、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定機関における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3) 受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2007 付録6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5) 超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造業連合会」の超音波探傷検査規程・同解説(2008)により、合格判定は7.2.1条を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2007」表5.1溶接箇所数の数え方による。
7) 受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。

- a) 工場溶接の場合
i. 検査ロットは各都、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii. 抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii. サンプリングの結果、不合格率が5%以内の場合はロットを合格とし、不合格率が5%を超えた場合は同一ロットの中から30箇所をサンプリングし、合計60箇所の不合格率が5%以内の場合合格とする。不合格率が5%を超えた場合は残り全数の検査を行う。
b) 現場溶接の場合
i. 全数検査とする。
ii. 検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
iii. ずれ、食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」等を参照する。

7-12 鉄骨製作工場

Table with columns: S, H, M, R, J. Title: 国土交通省大臣認定(グレード)

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

- 8-1 コンクリートブロック
1) 種類
2) 厚さmm

- 8-2 ALCパネル
1) 使用箇所
2) 厚さmm
3) 外壁取り付け構法

- 8-3 押出成形セメント板
外壁取り付け構法及び厚さmm

Table with columns: 方向, 構法, 使用箇所, 備考. Rows include 縦, 横.

- 8-4 PCa板
1) 床及び屋根
\* 床
\* PCa板厚さ
\* 合成板

Table with columns: PCa板厚さ, 現場打厚さ, 合計厚さ. Rows include mm, mm, mm.

- 2) 外壁 厚さmm

設計図 10/23

工事名 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所 横須賀市久比里2丁目51番地2

図面名称 構造特記仕様書(1/1)

図面番号 久里浜-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

原紙用紙サイズ A1

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課 私道無

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2015版

## 1-1 基本事項

### §1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。  
また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2009)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

## 1-2 その他

### §2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	×	◇	○	◎	■	◆	▲	▼	▽	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

- フックのない場合
- フックのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- 溶接継手表示 (ガス圧接、突き合せ溶接)

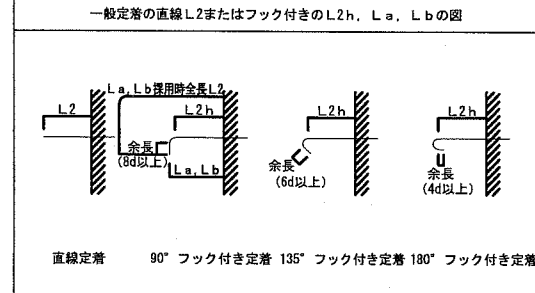
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直径(D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋	SD295 SD345	D16以下 D19~D41	3d以上 4d以上
135°		帯筋 あばら筋	SD390	D41以下	5d以上
90°		スパイラル筋 スラブ筋 壁筋	SD490	D25以下 D29~D41	5d以上 6d以上

## 2-1 鉄筋の折曲げ

## 2-2 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

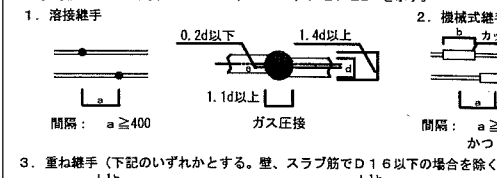
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ		定着の長さ	
		一般	小梁・床スラブ	一般	小梁・床スラブ
SD295 SD345 (1)は3045を示す	18	45d(50d)	40d	35d	15d(20d)
	21	35d	30d	40d(45d)	20d
	24~27	40d(45d)	35d	35d(40d)	15d
	30~36	30d	25d	25d(30d)	10d
	39~45	30d(35d)	25d(30d)	20d(25d)	10d
	48~60	20d	15d	20d(25d)	10d
SD390 (-)は適用外	21	50d(-)	40d(-)	45d(55d)	20d(-)
	24~27	35d(-)	30d(-)	40d(45d)	20d(-)
	30~36	40d(45d)	30d(35d)	35d(40d)	15d(-)
	39~45	35d(40d)	25d(30d)	30d(35d)	10d(-)



1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きのL2hは仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

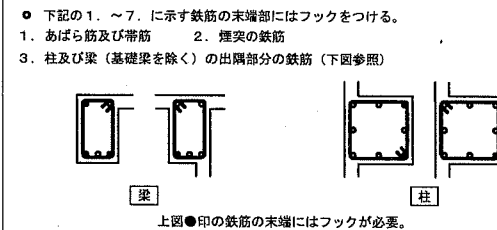
## 2-4 継手一般

3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは左下表1かつ40d(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2009)、RC基準2010とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さは設計者の指示による。参考値として左下表JASS5(2009)にL1 L2を示す。



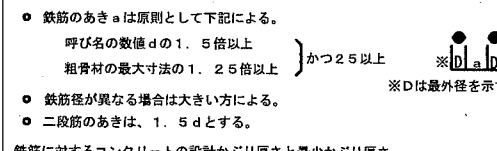
## 2-5 鉄筋のフック

3. 重ね継手(下記のいずれかとする。壁、スラブ筋でD16以下の場合を除く)
4. D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。(溶接、機械式継手等による)
5. 溶接継手を行う場合は原則として同一鋼種とし、鉄筋径の差はガス圧接の場合は2サイズ、突き合せ溶接の場合は1サイズまでとする。
6. 突き合せ溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。



## 2-6 鉄筋のあき

4. 片持ちスラブの上端筋の先端
5. 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭筋の四隅の鉄筋
6. 杭基礎の基礎柱(備忘基礎及び杭2本以上の場合)
7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻コンクリートの四隅の鉄筋



## 2-7 かぶりの厚さ

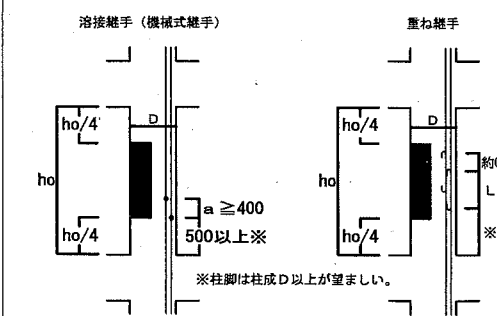
鉄筋に対するコンクリートの設計かぶり厚さと最少かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ		
	仕上げあり	仕上げなし	
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	30(20)	30(20)
	柱 梁 耐力壁	40(30)	40(30)
	壁	40(30)	50(40)
	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立ち上り	50(40)	50(40)
土に接する部分	基礎・擁壁 70(60)		

1. ( ) 内の数値は最少かぶり厚さを示す。
2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10%減の値とすることができる。
4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

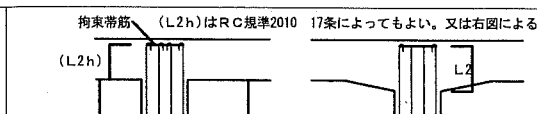
## §3 柱

## 3-1 主筋の継手

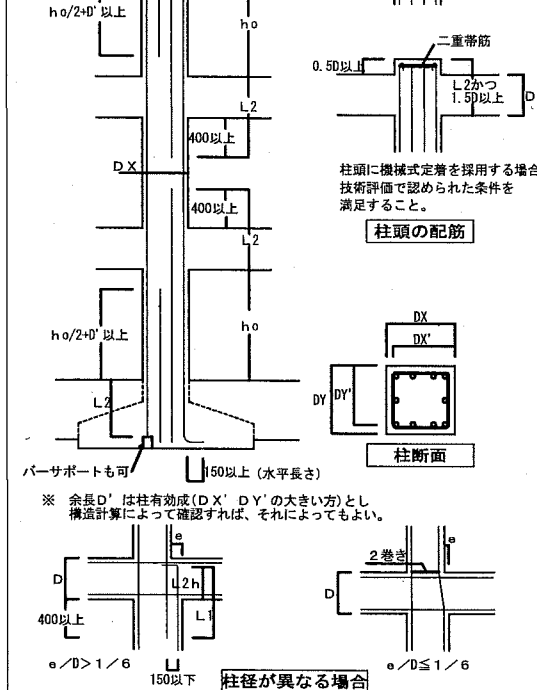


- 印内に継手中心部を設けることを原則とする。

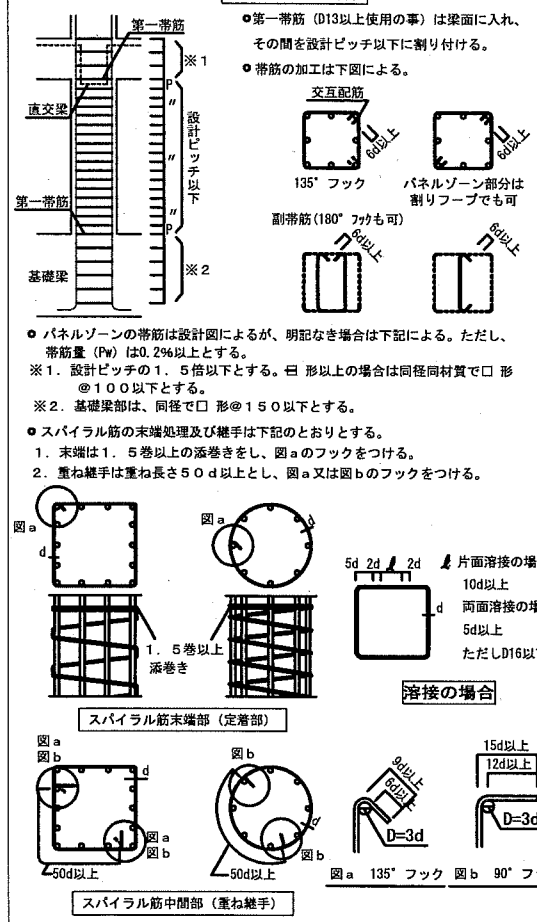
## 3-2 主筋の定着



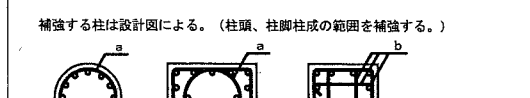
## 3-3 帯筋副帯筋



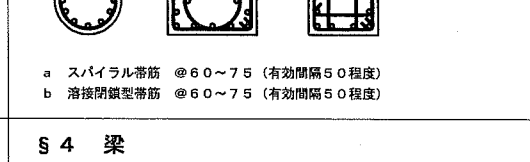
## 3-4 補助筋



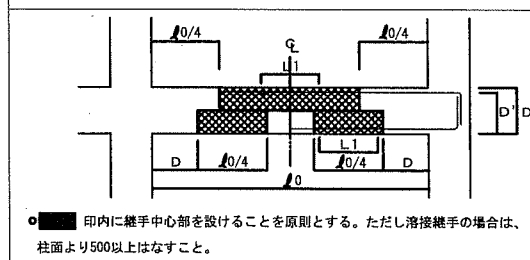
## 3-5 柱のコンファインド補強



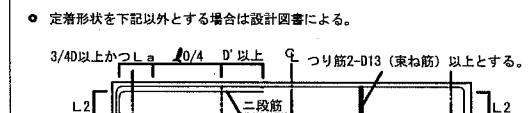
## 4-1 主筋の継手



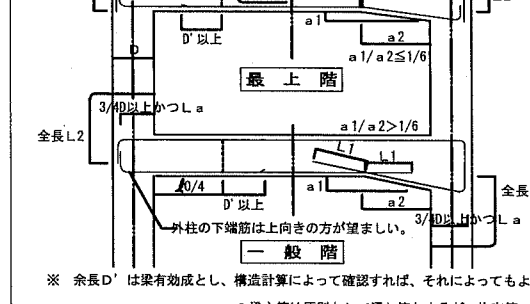
## 4-2 主筋の定着及び余長



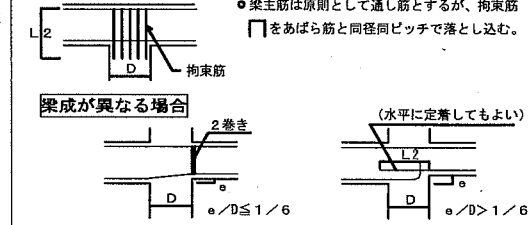
## 外柱



## 中柱



## 4-3 あばら筋副あばら筋



## 設計図

11/23

工事名: 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所: 横須賀市久里浜2丁目517番地2

図面名称: 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

図面番号: 久里-18C4

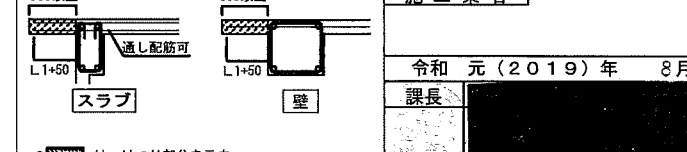
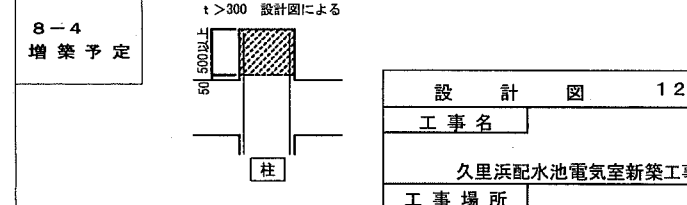
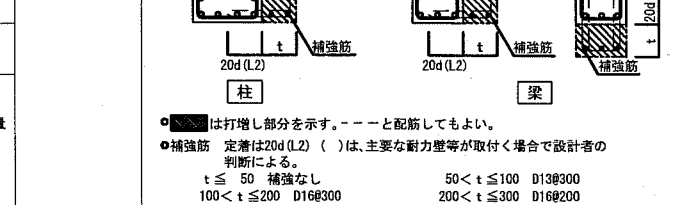
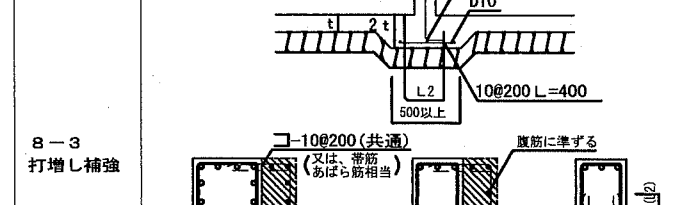
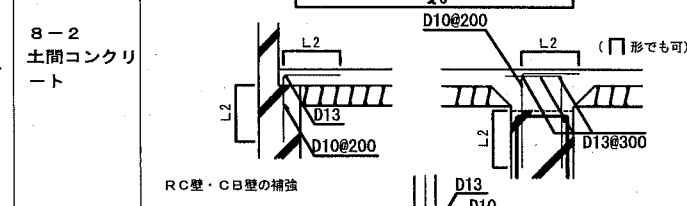
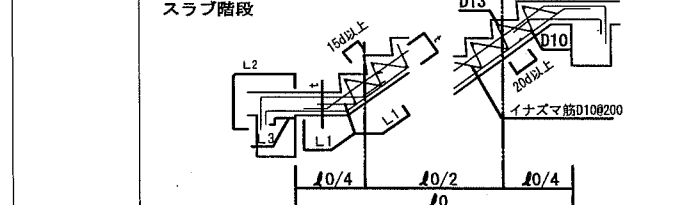
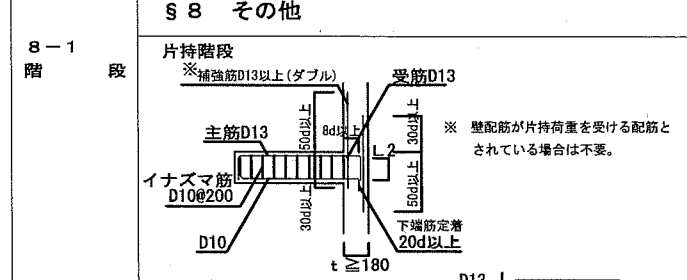
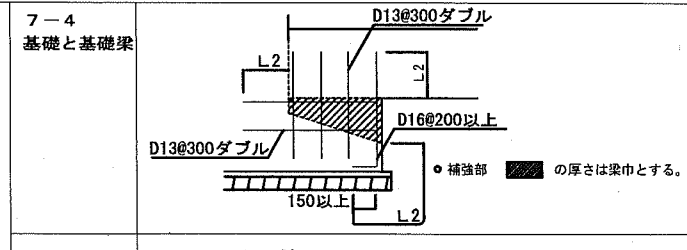
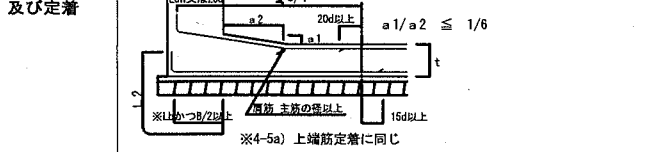
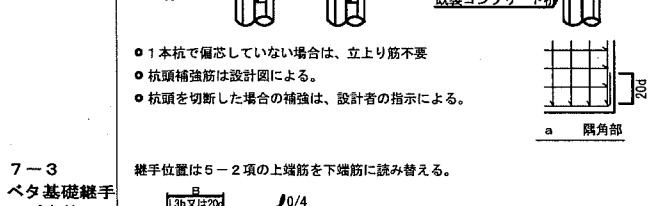
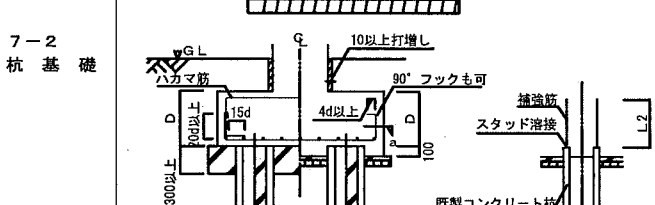
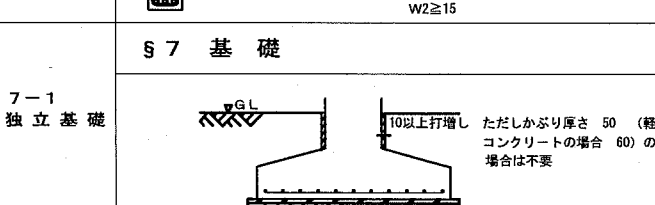
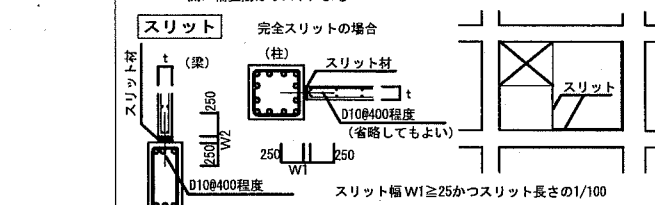
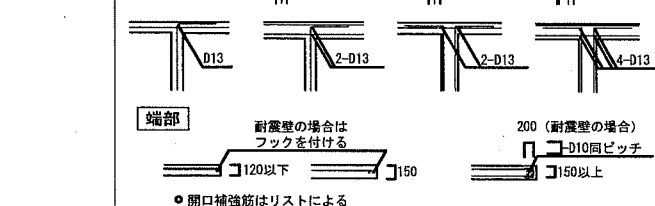
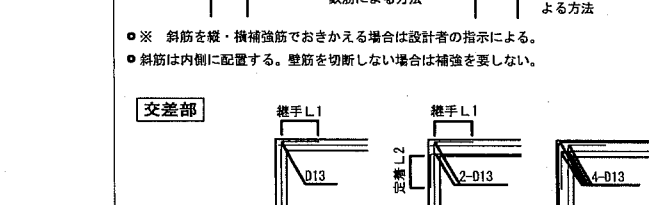
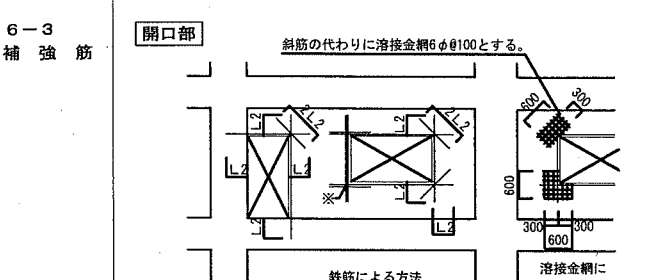
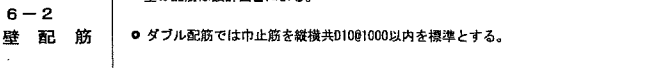
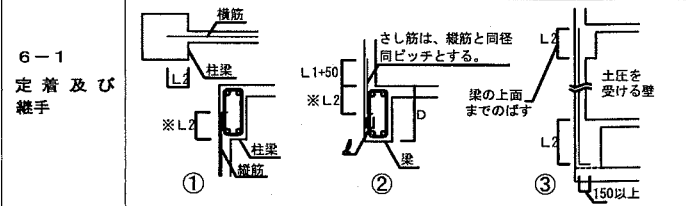
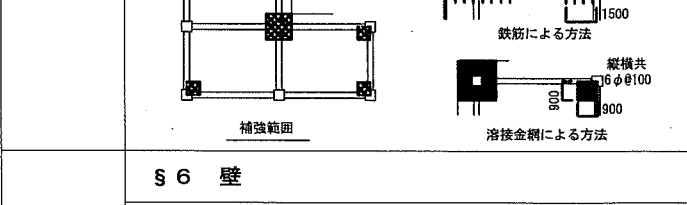
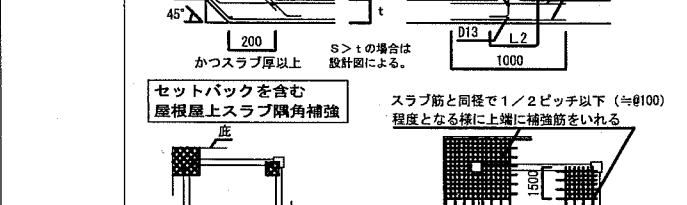
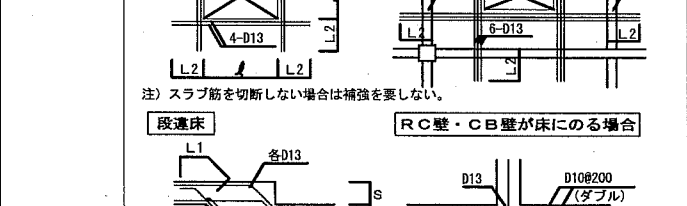
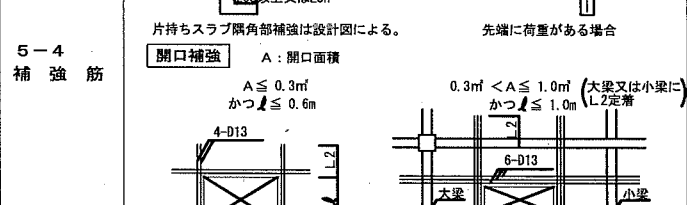
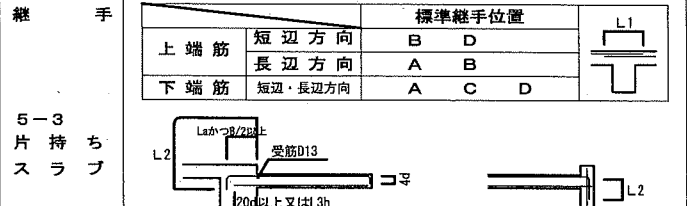
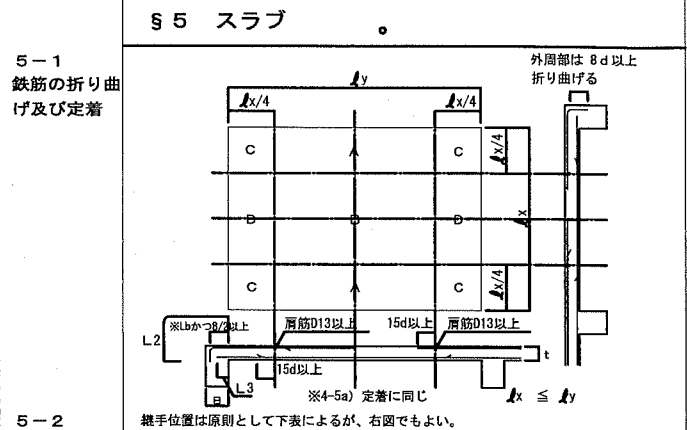
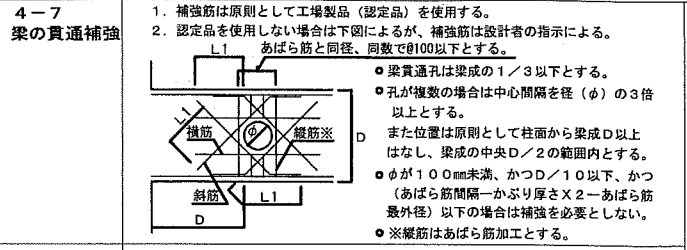
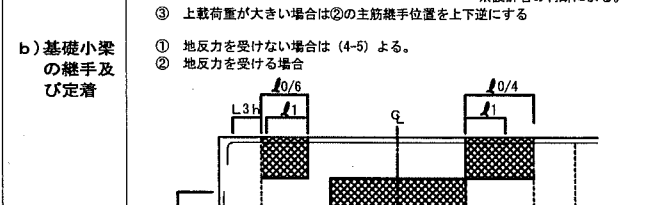
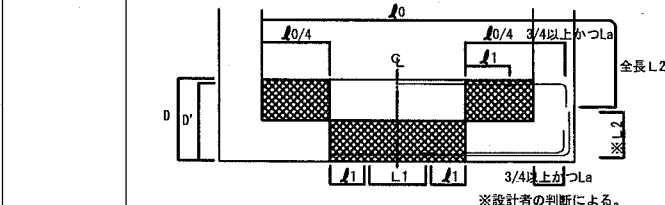
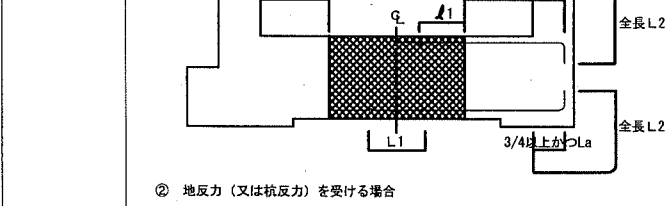
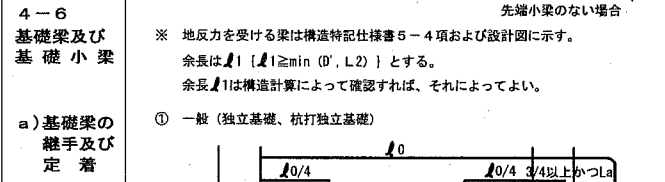
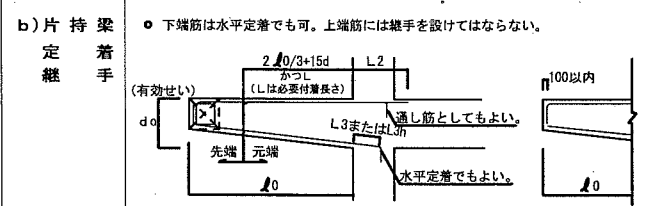
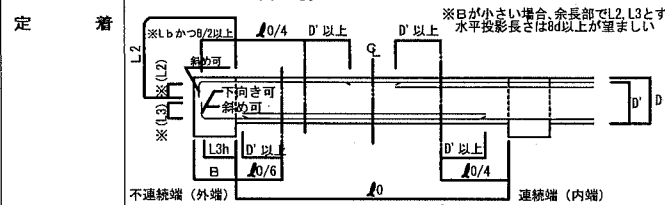
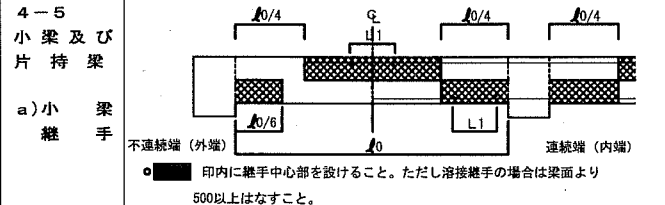
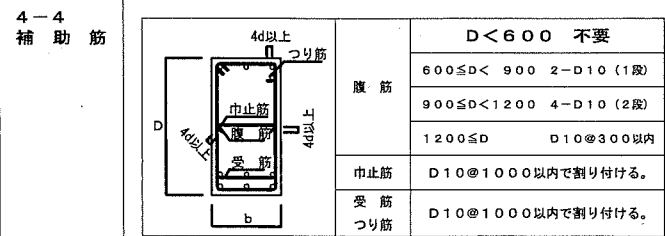
施工業者: 令和元(2019)年 8月

課長: [Redacted]

計画課: [Redacted]

私道: 無

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2015版



設計図 12/23

工事名 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所 横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

図面番号 久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課 私道 無

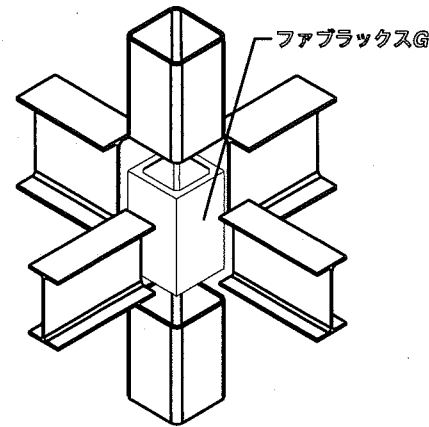






### 1. 概要

- 1) 工法**  
 ファブラックスG柱はり接合工法は、鉄骨造建築物の柱はり接合部にファブラックスG(法37条第二号認定品)を用い、柱およびはりの組合せを限定して使用するノンダイアフラム形式の柱はり接合工法である。
- 2) ファブラックスG**  
 ファブラックスGは、管内側の隅角部および柱と接合する小口面にハンチをもつ厚肉断面形状の鋳鋼品で、その機械的性質はSN490C材に相当する。
- 3) 設計**
  - 本工法の適用範囲の柱とはりの組合せにおいて、はりとはファブラックスGの接合部は、保有耐力接合条件を満足しており、設計者が接合部の構造計算を行う必要はない。
  - 本工法を用いた架構の剛性は、柱はりを線材置換して節点剛とした架構剛性として計算することができる。
  - ファブラックスGに接合されるはりの曲げ耐力算定時において、はりウェブは全断面有効として扱うことができる。

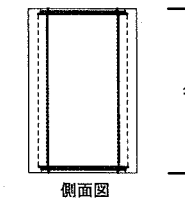
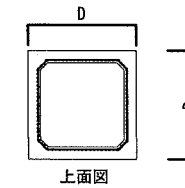


### 2. 形状寸法および材質

ファブラックスGの形状寸法および材質は以下のとおりである。

- 1) 形状寸法**  
 右図および下表にファブラックスGの形状および寸法を示す。

記号	(単位: mm)	
	外径(D)	長さ(H)
G20	203	380
G25	253	430
G30	303	480
G35	353	530

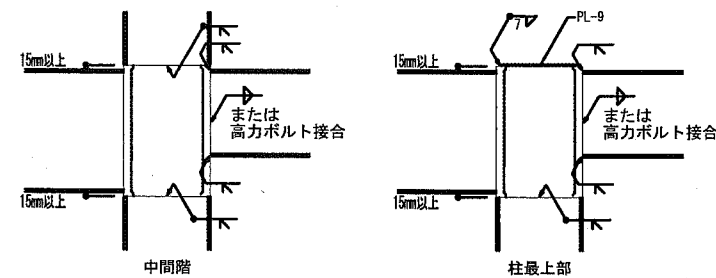


- 2) 材質**
  - 機械的性質および化学成分: SN490C相当
  - 基準強度(F値): 325N/mm<sup>2</sup>
  - 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定  
 国住指第3835号: MSTL-0144 (平成16年3月24日付)  
 国住指第3836号: MSTL-0145 (平成16年3月24日付)

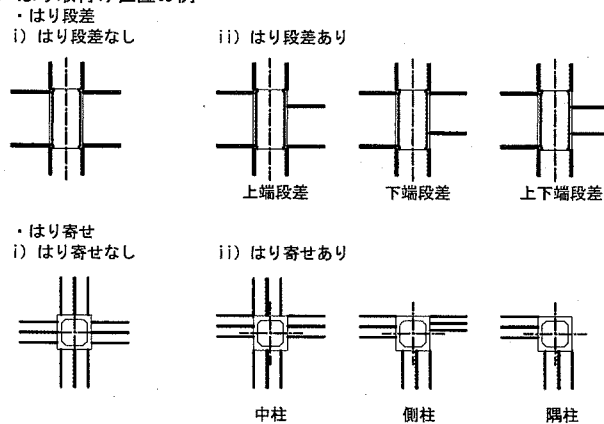
### 3. 標準接合部仕様

ファブラックスGの標準的な納まりについて下記に示す。

- 1) 接合条件**
  - 柱およびはりの取り付け  
 柱およびはりとはファブラックスGの接合部は、柱およびはりフランジとは完全溶け込み溶接、はりウェブとは溶接またはガセットプレートを介した高力ボルトによるものとする。
  - はりの取り付け位置  
 はりの取り付け位置は、はりフランジ面をファブラックスG小口端部から15mm以上離さなければならない。
  - 柱最上部  
 ファブラックスGの上部に柱材が取り付けられない場合は、ファブラックスGの上部に基準強度235N/mm<sup>2</sup>以上で厚み9mm以上の鋼板を全周隅肉溶接にて取り付ける。



#### 2) はり取り付け位置の例



### 4. 適用柱はり部材組合せ

ファブラックスGに接合される柱およびはりは以下のとおりである。

適用柱はり部材組合せ表 (はり: 細幅系列) ※採用する柱、はりの組合せを確認 ◎ 採用

はりサイズ	ファブラックス		【G20】				【G25】				【G30】				【G35】			
	柱サイズ		□200				□250				□300				□350			
	板厚(t)		6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16
H-150x75x5x7																		
H-175x90x5x8																		
H-198x99x4.5x7																		
H-200x100x5.5x8																		
H-248x124x5x8																		
H-250x125x6x9																		
H-298x149x5.5x8																		
H-300x150x6.5x9																		
H-346x174x6x9																		
H-350x175x7x11																		
H-396x199x7x11																		
H-400x200x8x13																		
H-446x199x8x12																		
H-450x200x9x14																		
H-496x199x9x14																		
H-500x200x10x16																		

適用柱はり部材組合せ表 (はり: 中幅系列)

はりサイズ	ファブラックス		【G20】				【G25】				【G30】				【G35】			
	柱サイズ		□200				□250				□300				□350			
	板厚(t)		6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16
H-148x100x6x9																		
H-194x150x6x9																		
H-244x175x7x11																		
H-294x200x8x12																		
H-336x249x8x12																		
H-340x250x9x14																		
H-386x299x9x14																		
H-390x300x10x16																		
H-434x299x10x15																		

適用柱はり部材組合せ表 (はり: 広幅系列)

はりサイズ	ファブラックス		【G20】				【G25】				【G30】				【G35】			
	柱サイズ		□200				□250				□300				□350			
	板厚(t)		6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16
H-150x150x7x10																		
H-175x175x7.5x11																		
H-200x200x8x12																		
H-248x249x8x13																		
H-250x250x9x14																		
H-294x302x12x12																		
H-298x299x9x14																		
H-300x300x10x15																		

適用柱はり部材組合せ表 (はり: はりせい一定品)

はりサイズ	ファブラックス		【G20】				【G25】				【G30】				【G35】			
	柱サイズ		□200				□250				□300				□350			
	板厚(t)		6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16
H-400x200x9x12																		
H-400x200x9x16																		
H-400x200x9x19																		
H-450x200x9x12																		
H-450x200x9x16																		
H-450x200x12x16																		
H-450x250x9x12																		
H-450x250x9x16																		
H-500x200x9x12																		
H-500x200x9x16																		
H-500x200x12x16																		
H-500x250x9x12																		
H-500x250x9x16																		
H-500x300x12x16																		

注) 柱板厚8mmおよび14mmにおけるはりの組合せは、それぞれ柱板厚6mmおよび12mmと同じ

#### 1) 適用柱部材

基準強度(F値)が235N/mm<sup>2</sup>~325N/mm<sup>2</sup>の冷間成形角形鋼管および熱間成形角形鋼管、組立箱形断面柱

#### <適用する柱材品種の例>

- 一般構造用角形鋼管 (STKR400, STKR490)
- 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 (BCR295)
- 建築構造用冷間プレス成形角形鋼管 (BCP235, BCP325)
- 建築構造用熱間成形角形鋼管 (SHC400, BSHC400, SHC490)
- 組立箱形断面柱 (SM400, SM490, SN400, SN490)

#### 2) 適用はり部材

基準強度(F値)が235N/mm<sup>2</sup>のH形鋼

#### <適用するはり材品種の例>

- 圧延H形鋼 (SS400, SN400, SM400, NSFR400)

#### 3) 適用柱はり部材組合せ

- 本工法の適用柱はり部材組合せを下表に示す。
- 中間階の柱はり接合部においては、上階の柱とそれぞれのはりとの組み合わせで適否を確認する。(最上階は下階柱)

設計図 15/23

工事名: 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所: 横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称: 柱はり接合工法設計標準図(参考)

図面番号: 9-0808-1)

久比里-18C4

施工業者: [ ]

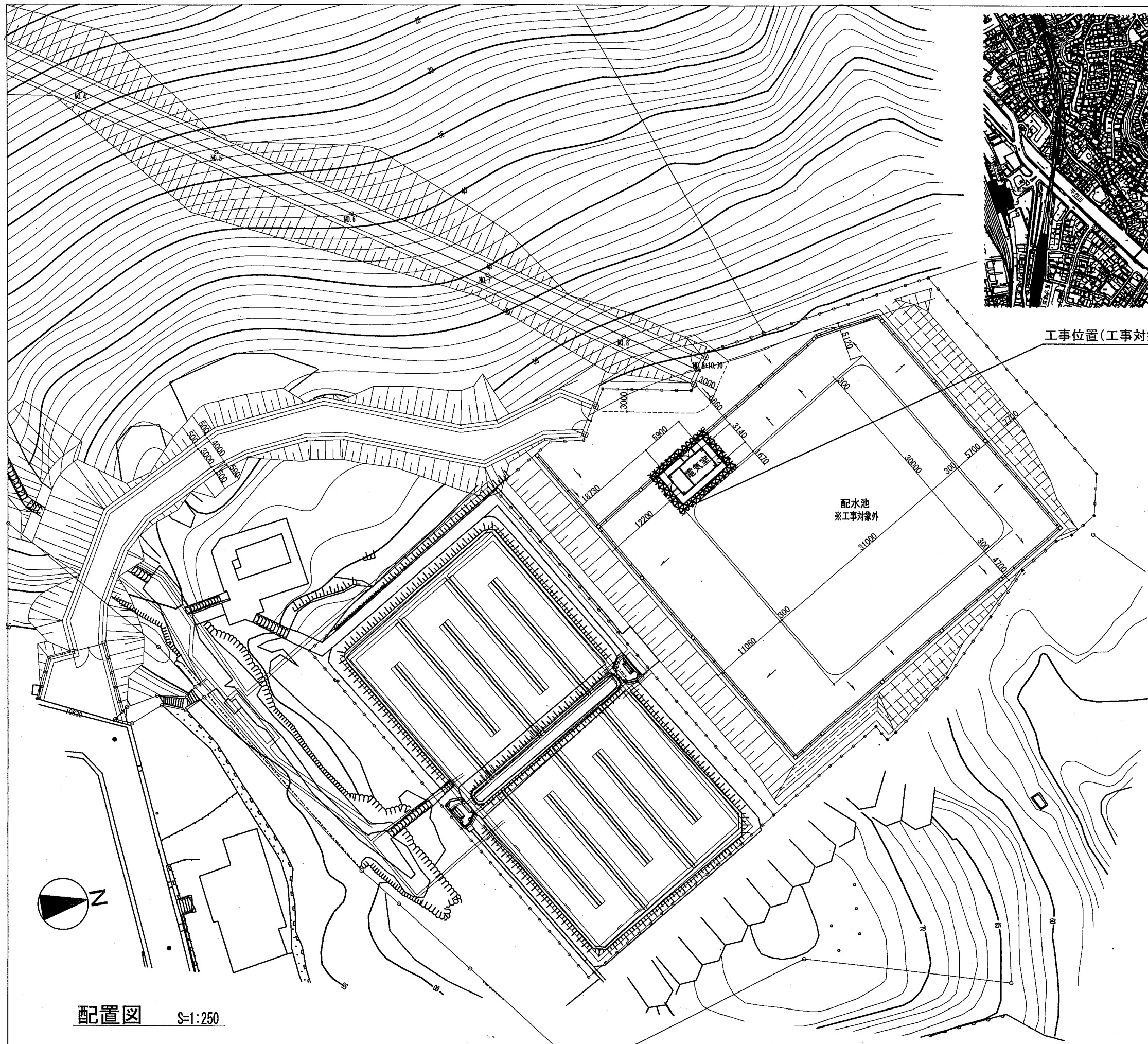
令和元(2019)年 8月

課長: [ ]

横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課: [ ] 私道: 無

原紙用紙サイズ A1

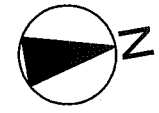


工事場所  
横須賀市久比里2丁目517番地2  
久里浜配水池

案内図

工事位置(工事対象建物)

配水池  
※工事対象外



配置図 S=1:250

設計図	16/23
工事名	
工事場所	久里浜配水池電気室新築工事
図面名称	横須賀市久比里2丁目517番地2 案内図・配置図
図面番号	A_01/07
施工業者	久比里-18C4
課長	
計画課	私道 無

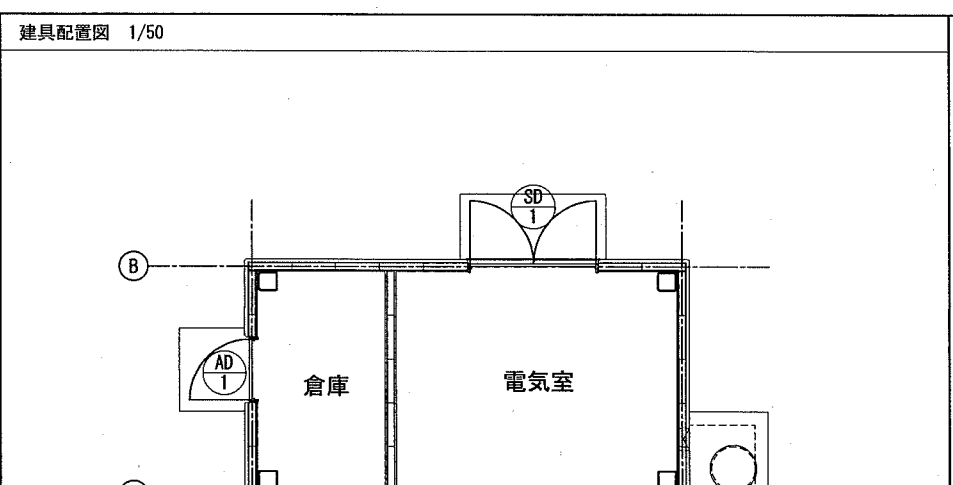
原紙用紙サイズ A1

外部仕上表		屋根		雨水排水	その他	下地凡例
床	壁・壁	屋根	軒			
<b>【外部ポーチ】</b> 床：モルタル塗り 側面：コンクリート打放しB種  <b>【ハンドホール】</b> 上面：コンクリート直均し仕上（水勾配） 側面：コンクリート打放しB種の上 透水性透水剤塗布 差：鋼鉄製 φ600  <small>※透水性透水剤塗布            &lt;エービーシー商会 ワイティールーフC&gt;同等品</small>	<b>【接壁】</b> コンクリート打放しB種（増打t=20、h=700）の上 透水性透水剤塗布 誘発目地 シーリング  <b>【外壁】</b> ALC板 t=100 縦張り <イミシボレックス SDR工法>同等品 可とう形複層遮材CE吹付（凹凸模様） 目地 シーリング  <small>※透水性透水剤塗布            &lt;エービーシー商会 ワイティールーフC&gt;同等品</small>	<b>【屋根】</b> 耐火野地板 t=25 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4（一文字葺き） （不燃：NM-8897）  <b>【棟】</b> 棟包み：屋根同材 加工  <b>【軒先】</b> 唐草金物：屋根同材 加工  <b>【けらば】</b> 唐草金物：屋根同材 加工  <small>※屋根等            &lt;元旦ビューティ工業 スプリングルーフ800&gt;同等品</small>	<b>【軒先・ケラバ】</b> 葦葉系不燃性破風板 t=16（塗装品）  <b>【軒高】</b> LGS25形 ケイ酸カルシウム板 t=6の上 外装薄塗材E吹付	<b>【軒樋・堅樋】</b> 無し	<b>【建物銘板】</b> アルミ製室名札（平付型）75×300×10 <神楽ホームクリエイティブ：SK-604NA >同等品	表示略号 表示事項 CON コンクリート LGS 軽量鉄骨天井下地

内部仕上表																			
階	室名	床			樑木・壁・側面			壁			柱			天井			備考		
		下地	仕上げ	床高	下地	仕上げ	高さ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	高さ	廻縁				
1	電気室	CON	無筋コンクリート t=200 直均し仕上の上 防塵塗装 <エービーシー商会 カラートップU>同等品	1FL±0	CON	コンクリート打放しB種の上 防塵塗装 <エービーシー商会 カラートップU>同等品	400	ALC	ALC板 t=100 縦張り 素地	S	鉄骨 溶融亜鉛メッキ仕上 (φD255)			LGS 19形	化粧石膏ボード t=9.5 天井裏断熱材：グラスウール 24K t=100	CH=3000	塩ビ製	ビット葺：スチール鍍銀製 t=4.5 ビット葺：アルミ製受棒 クッション材付 塗装履歴表示板：アクリル板3mm	
1	倉庫	CON	コンクリート直均し仕上の上 防塵塗装 <エービーシー商会 カラートップU>同等品	1FL-170	CON	コンクリート打放しB種の上 防塵塗装 <エービーシー商会 カラートップU>同等品	570	ALC	ALC板 t=100 縦張り 素地	S	鉄骨 溶融亜鉛メッキ仕上 (φD255)	S	鉄骨 溶融亜鉛メッキ仕上 (φD255)	S	耐火野地板 素地				
	ハンドホール	CON	コンクリート直均し仕上	1FL-1200	CON	コンクリート打放しB種								CON	コンクリート打放しB種				足掛け金物：ポリプロピレン製 W=300 <杉田エース ノーレンプロフィーステップ>同等品

※内装材は全てゼロアース材である。

面積表 1/100		面積表 (㎡)	
	①	3.14 × 5.90 = 18.5260	建築面積
	②		1階床面積
	計	18.52	
			延べ面積



建具表 1/50			
符号・名称・個数	片開き窓	1ヶ所	両開きフラッシュ戸
場所	電気室	1ヶ所	倉庫
仕上 (枠共)	H アルミ製 (ALC用型材)	H アルミ製 (ALC用型材)	H アルミ製 (ALC用型材)
見込	70	100	70
建具	網入り型板ガラス t=6.8	-	網入り型板ガラス t=6.8
ガラリ	-	-	-
建具金物	4方アルミ額縁50、アルミ水切135 レバーハンドル 丁番×2	両面繰りハンドル、片面繰りハンドル 南京錠 (取付金具共)、DC、 大型丁番×6、大型戸当り×2	レバーハンドル 南京錠 (取付金具共)、DC、 丁番×2、戸当り×1
その他			
形状・寸法			

建具略号凡例			
表示略号	表示事項	表示略号	表示事項
H	既製建具の型材の 組合せによる異形寸法	AW	アルミ製窓
O	上記以外の建具	AD	アルミ製戸
		SD	網製戸
		DC	ドアチェック

設計図 17/23

工事名 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所 横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称 電気室 仕上表・面積表・建具表

図面番号 久比里-18C4

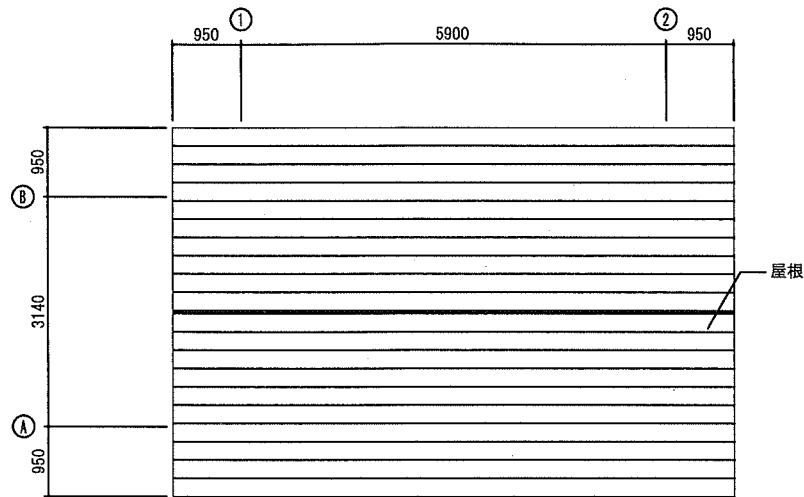
施工業者

令和元(2019)年 8月

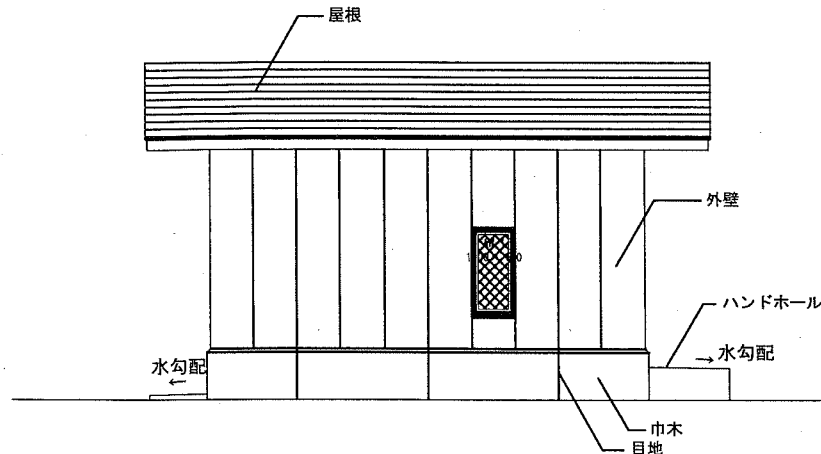
課長

原紙用紙サイズ A1

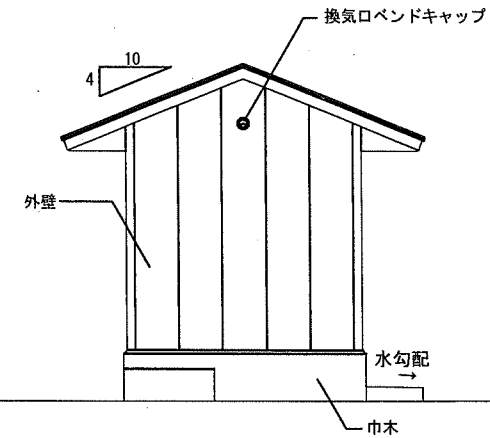
計画課 私有 無



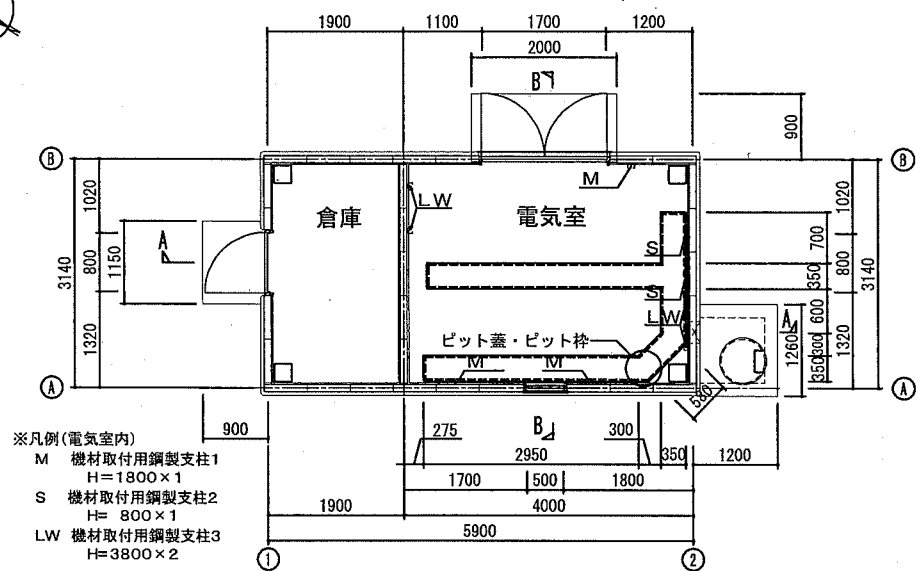
屋根伏図 1:50



東側立面図 1:50

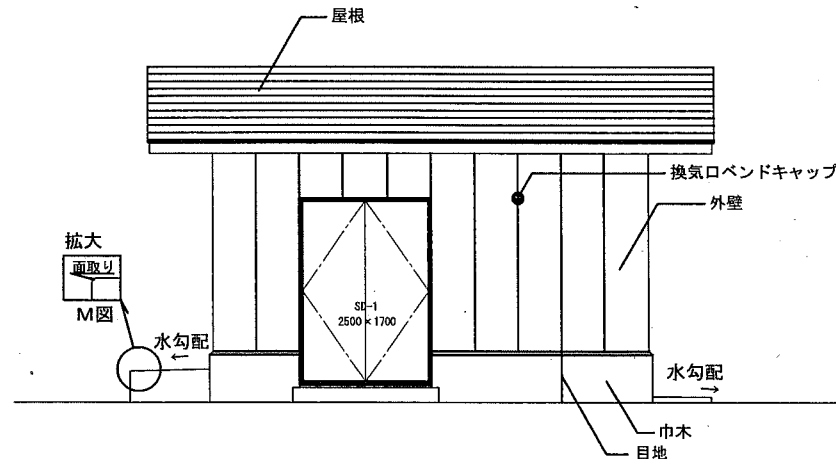


北側立面図 1:50

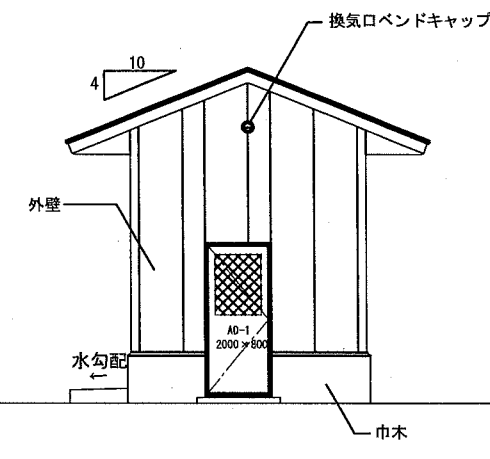


平面図 1:50

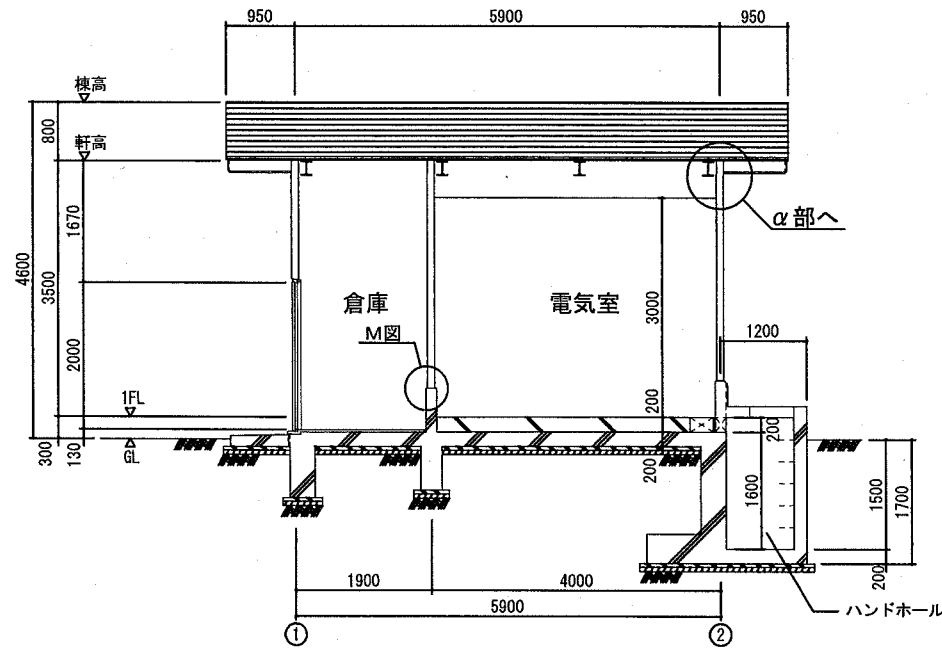
※凡例(電気室内)  
 M 機材取付用鋼製支柱1  
 H=1800×1  
 S 機材取付用鋼製支柱2  
 H=800×1  
 LW 機材取付用鋼製支柱3  
 H=3800×2



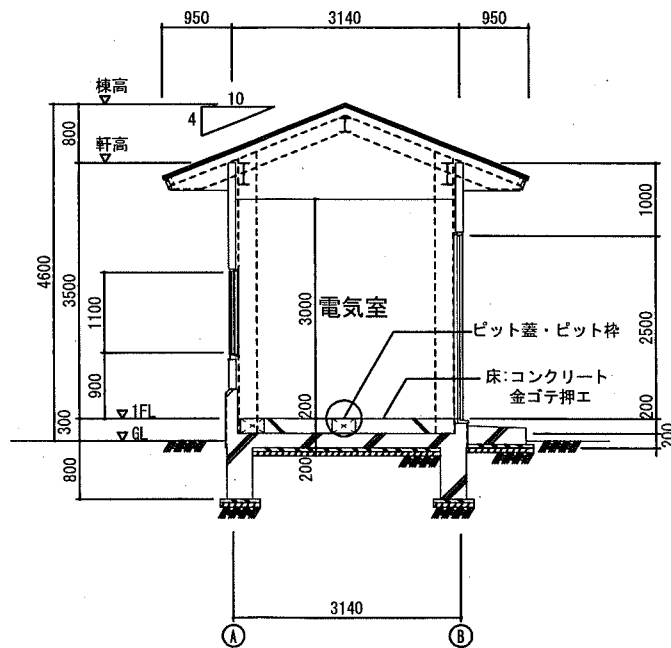
西側立面図 1:50



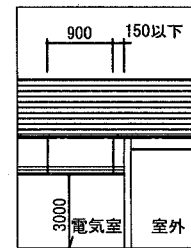
南側立面図 1:50



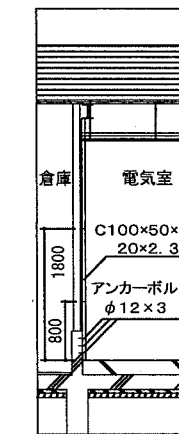
A-A断面図 1:50



B-B断面図 1:50



α部詳細図 1:50



機材取付用鋼製支柱 1:50

内部  
 軽量鉄骨天井下地19形@300  
 化粧石膏ボード(t=9.5)  
 天井廻縁(塩ビ製)  
 天井点検口(450×450)×2  
 天井開口補強(450×450)×2  
 天井裏断熱材  
 (グラスウール24K t=100)  
 ※点検口位置は現場にて指定します。  
 外部  
 軽量鉄骨天井下地25形@300  
 ケイ酸カルシウム板(t=6.0)  
 外装薄塗材E

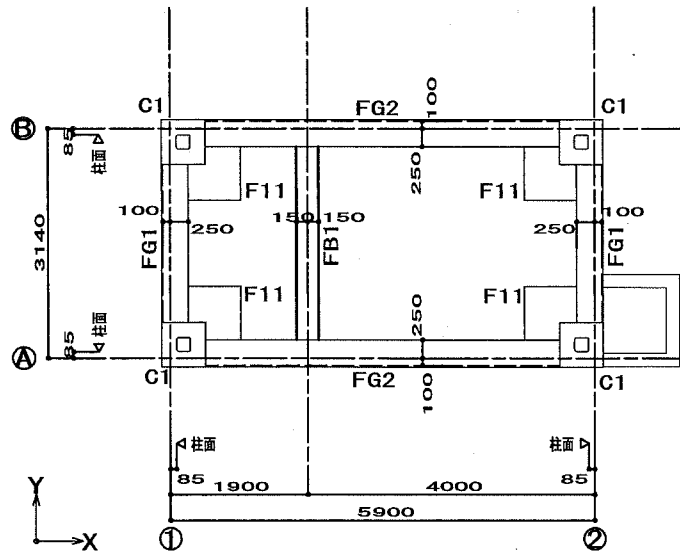
機材取付用鋼製支柱 塗装仕様  
 下地調整  
 錆止め 工程B種 錆止めB種  
 EPG塗装 B種 2回塗り  
 その他  
 高さ3800(LW)は上部溶接あり  
 ※各支柱位置については現場にて指定します。

設計図	18/23
工事名	久里浜配水池電気室新築工事
工事場所	横須賀市久比里2丁目517番地2
図面名称	電気室 平面・立面・断面図
図面番号	久比里-18C4
施工業者	
令和元(2019)年 8月	
課長	
横須賀市上下水道局技術部水道施設課	
計画課	私道無

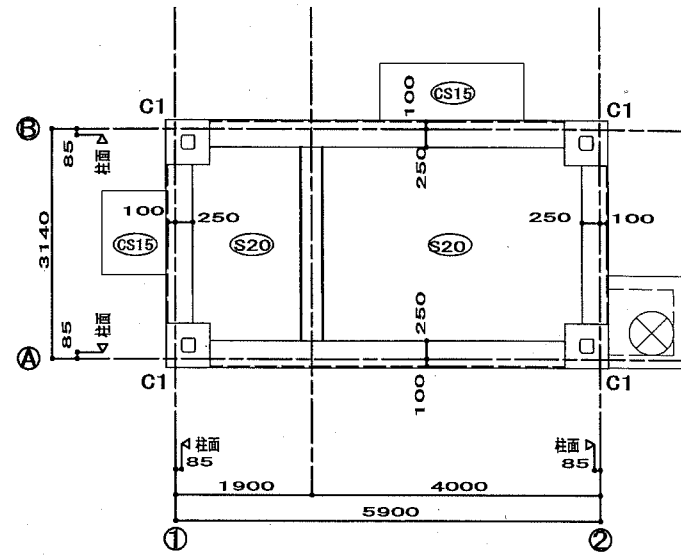
原紙用紙サイズ A1



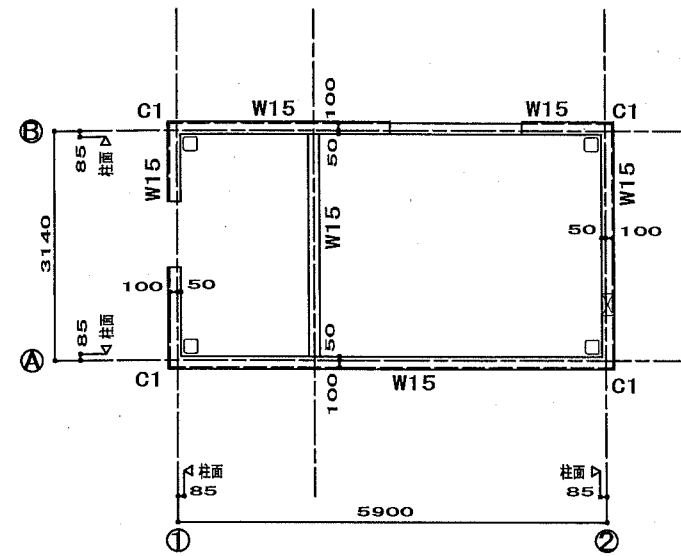
基礎梁伏図 1:50



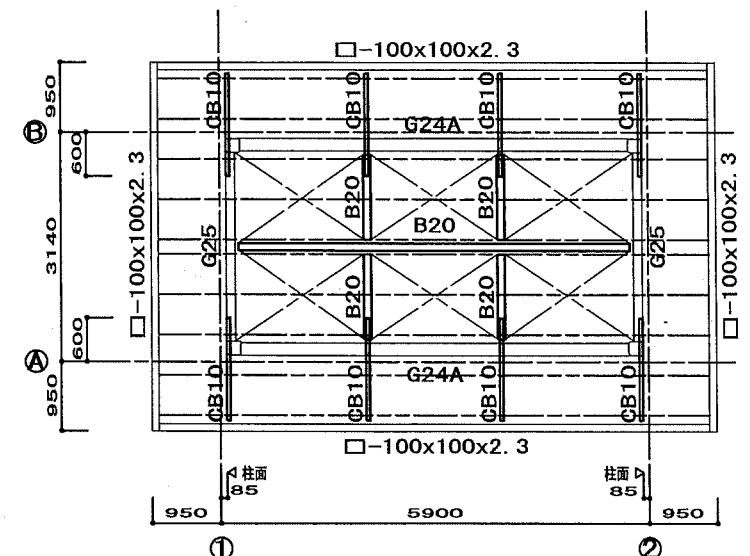
1階床伏図 1:50



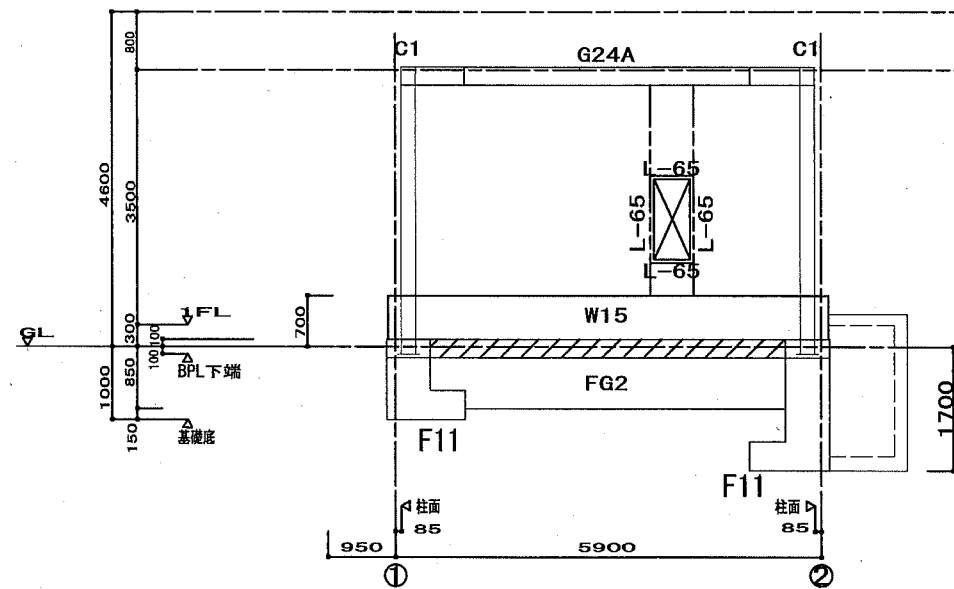
1階壁伏図 1:50



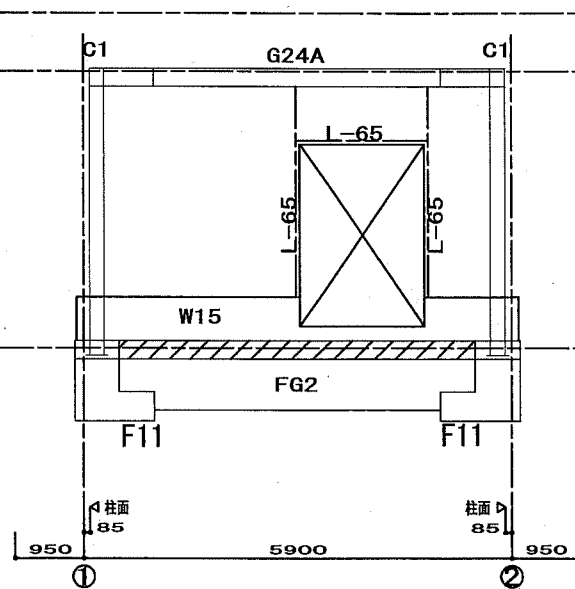
屋根伏図 1:50



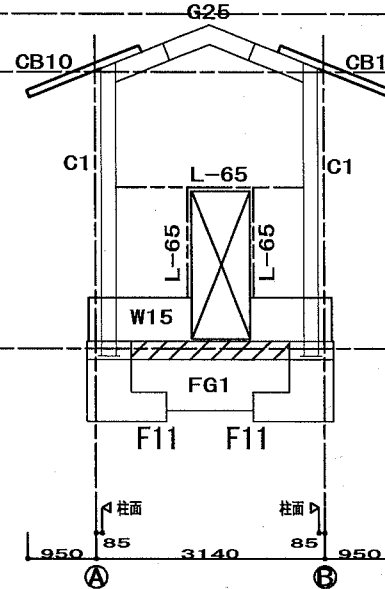
A通軸組図 1:50



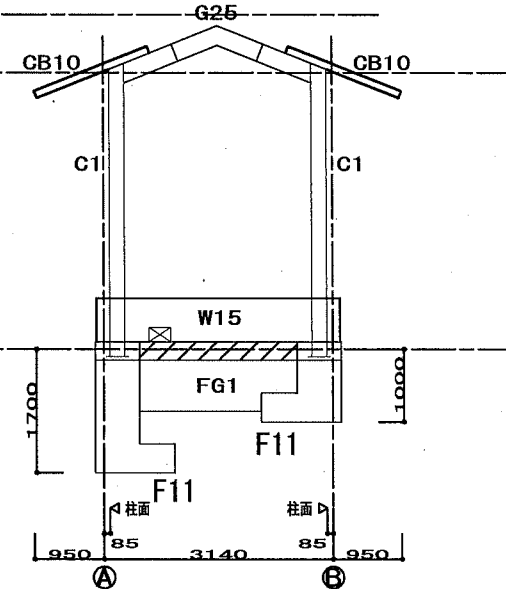
B通軸組図 1:50



1通軸組図 1:50



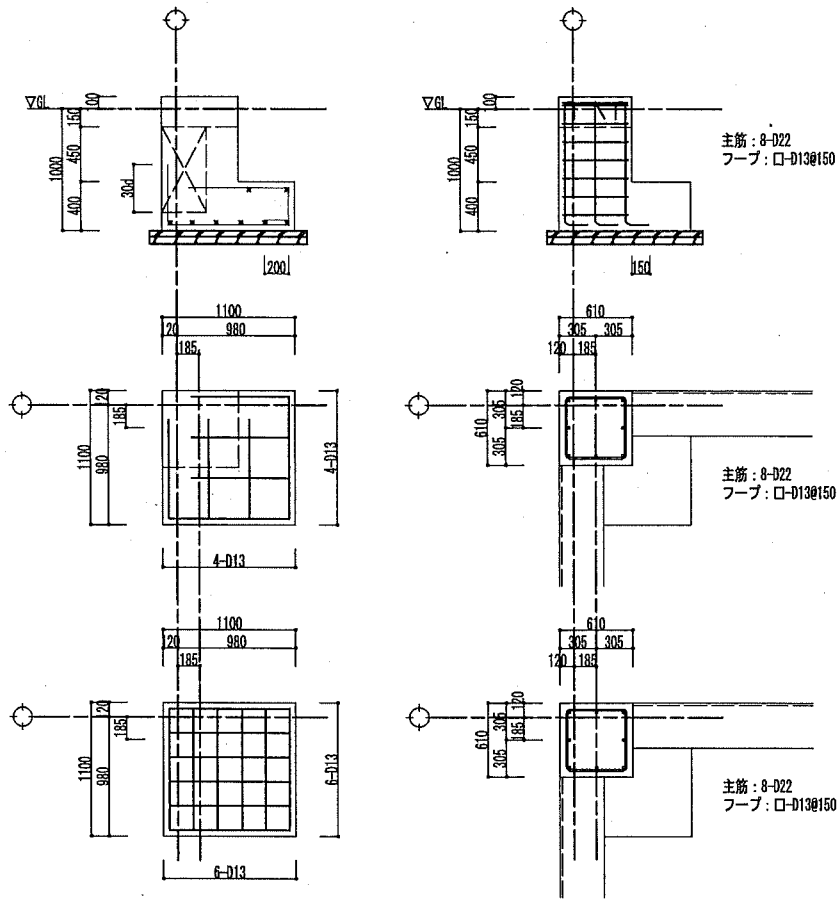
2通軸組図 1:50



設計図	19/23
工事名	久里浜配水池電気室新築工事
工事場所	横須賀市久比里2丁目517番地2
図面名称	電気室 伏図・軸組図
図面番号	久比里-18C4
施工業者	
令和元(2019)年 8月	
課長	
原紙用紙サイズ	A1
横須賀市上下水道局技術部水道施設課	
計画課	私道 無

基礎リスト F11

捨コンクリート t=50 砕石 t=60



地中梁リスト

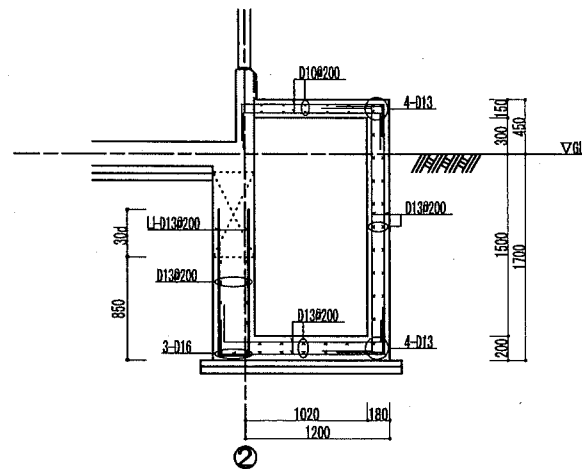
※ 特記なき限り巾止め筋は、D10@100とする

符号	FG1	FG2	FB1
位置	全域	全域	全域
B×D	350×700	350×700	300×600
断面			
捨コンクリート	t=50 砕石 t=60	t=50 砕石 t=60	t=50 砕石 t=60
上端筋	3-D19	3-D22	3-D19
下端筋	3-D19	3-D22	3-D19
腹筋	2-D13	2-D13	2-D10
スタラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D10@200
増打補強部	上端筋 2-D16 スタラップ □-D13@200	上端筋 2-D16 スタラップ □-D13@200	上端筋 2-D16 スタラップ □-D10@200

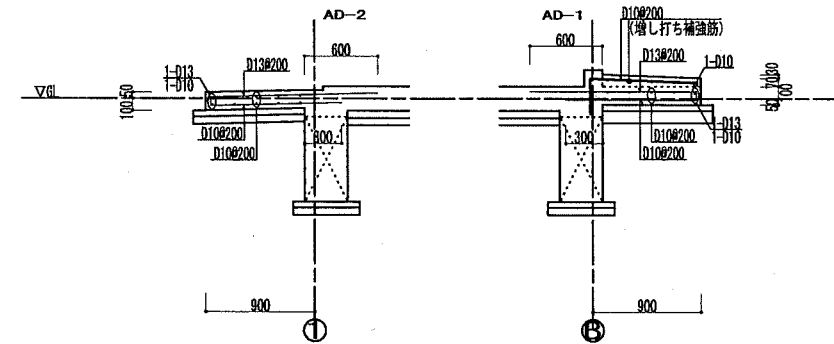
鉄筋コンクリート仕様

種類	仕様
コンクリート	Fe=24 (N/mm <sup>2</sup> )
鉄筋 (D16以下)	SD295A
鉄筋 (D19以上)	SD345

ハンドホール 配筋詳細図



出入口 断面配筋図



壁リスト

※ 特記なき限り巾止め筋は、D10@100とする

符号	断面	縦筋及び横筋	開口補強筋
W15		縦筋 D10@150 シングル 横筋 D10@150 シングル	縦筋 1-D13 横筋 1-D13 斜め筋 1-D13

床リスト

符号	版厚	位置	主筋(短辺)方向	配筋(長辺)方向	端部補強筋	備考	地業工事仕様
			全断面	全断面			
S20	200	上端筋 下端筋	D13@200 D13@200	D13@200 D13@200		4辺固定スラブ	捨てコンクリート t=50 ポリエチレンフィルム t=0.15 砕石 t=60
CS15	150	上端筋 下端筋	D13@200 D10@200	D10@200 D10@200	2-D13	片持ちスラブ	捨てコンクリート t=50 砕石 t=60

設計 図 20/23

工事名

久里浜配水池電気室新築工事

工事場所

横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称

電気室 構造断面リスト(1)

図面番号

久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

横須賀市工事部技術部水産施設課

計画課

私道 | 無

原紙用紙サイズ A1

J1		J2		J3		J4		J5		J6	
柱	1C1 □-200x200x9	大梁	G24A H-244x175x7x11	大梁	G25 H-250x125x6x9	棟部	G25 H-250x125x6x9	小梁	B20 H-200x100x5.5x8	小梁	B20 H-200x100x5.5x8
<p>柱脚部</p> <p>柱脚 ベースプレート PL-19x400x400 (SN490C) アンカーボルト 4-M20 ダブルナット締め アンカーフレーム (PL-12x100) 付き</p>		<p>柱梁接合部</p> <p>柱梁接合部 外ダイヤフラム ファプラスG、NDコア 内ダイヤフラム (同等品)</p>		<p>親手 フランジ 外ZPLs-9x290x175+内4PLs-9x290x70 HTB 16-M20 ウェブ 2PLs-9x170x140 HTB 4-M20</p>		<p>親手 フランジ 外ZPLs-12x125x410+内4PLs-12x125x50 HTB 24-M16 ウェブ 2PLs-6x170x290 HTB 8-M16</p>		<p>親手 ウェブ GPL-6 HTB 2-M16</p>		<p>親手 ウェブ GPL-6 HTB 2-M16</p>	
J7		J8		J9		J10					
小梁	B20 H-200x100x5.5x8	片持梁	cB10 C-100x50x5x7.5	片持梁	cB10 C-100x50x5x7.5	水平ブレース	RB1 1-M16ターンバックル締め				
<p>親手 ウェブ GPL-6 HTB 2-M16</p>		<p>親手 ウェブ GPL-6 HTB 2-M16</p>		<p>親手 ウェブ GPL-6 HTB 2-M16</p>		<p>親手 羽子板 FB-9 ガセットプレート GPL-9 HTB 1-M16</p>					

鋼材の材質

種類の記号	使用場所
BCR295	柱
SS400	間柱、小梁
SS400	大梁、鋼板 (t6~t16)
SN490C	鋼板 (t16、ダイヤフラム・ベースプレート)
SS400	ターンバックルブレース
SS400	清形鋼、山形鋼、I形鋼、鋼板t4.5
SSC400	軽量型鋼
F8T	トルシア形高力ボルト

※溶融亜鉛メッキ仕上げ

鉄骨断面リスト

部位	記号	部材	接合 (J記号は接合部リスト参照)	
			剛	ピン
柱	1C1	□-200x200x9	J1	
大梁	G24A	H-244x175x7x11	J2	
	G25	H-250x125x6x9	J3・J4	
小梁	B20	H-200x100x5.5x8	J5・J6・J7	HTB 2-M16
片持梁	cB10	C-100x50x5x7.5	J8・J9	HTB 2-M16
水平ブレース	RB1	1-M16 TB締め	J10	HTB 1-M16

部位	記号	部材	接合 (J記号は接合部リスト参照)	
			剛	ピン
母屋		C-100x50x20x2.38606 2Cs-100x50x20x2.381820		ガセットプレート等 ボルト等
軒先・けらば ALCパネル下地		□-100x100x3.2 L-65		ネコL-100x100x7 ボルト 2-M12
ALCパネル下地	L-65	L-65x65x6		

設計図 21/23

工事名 久里浜配水池電気室新築工事

工事場所 横須賀市久比里2丁目517番地2

図面名称 電気室 構造断面リスト(2)

図面番号 A\_06 (S-3) / 07

久比里-18C4

施工業者

令和元(2019)年 8月

課長

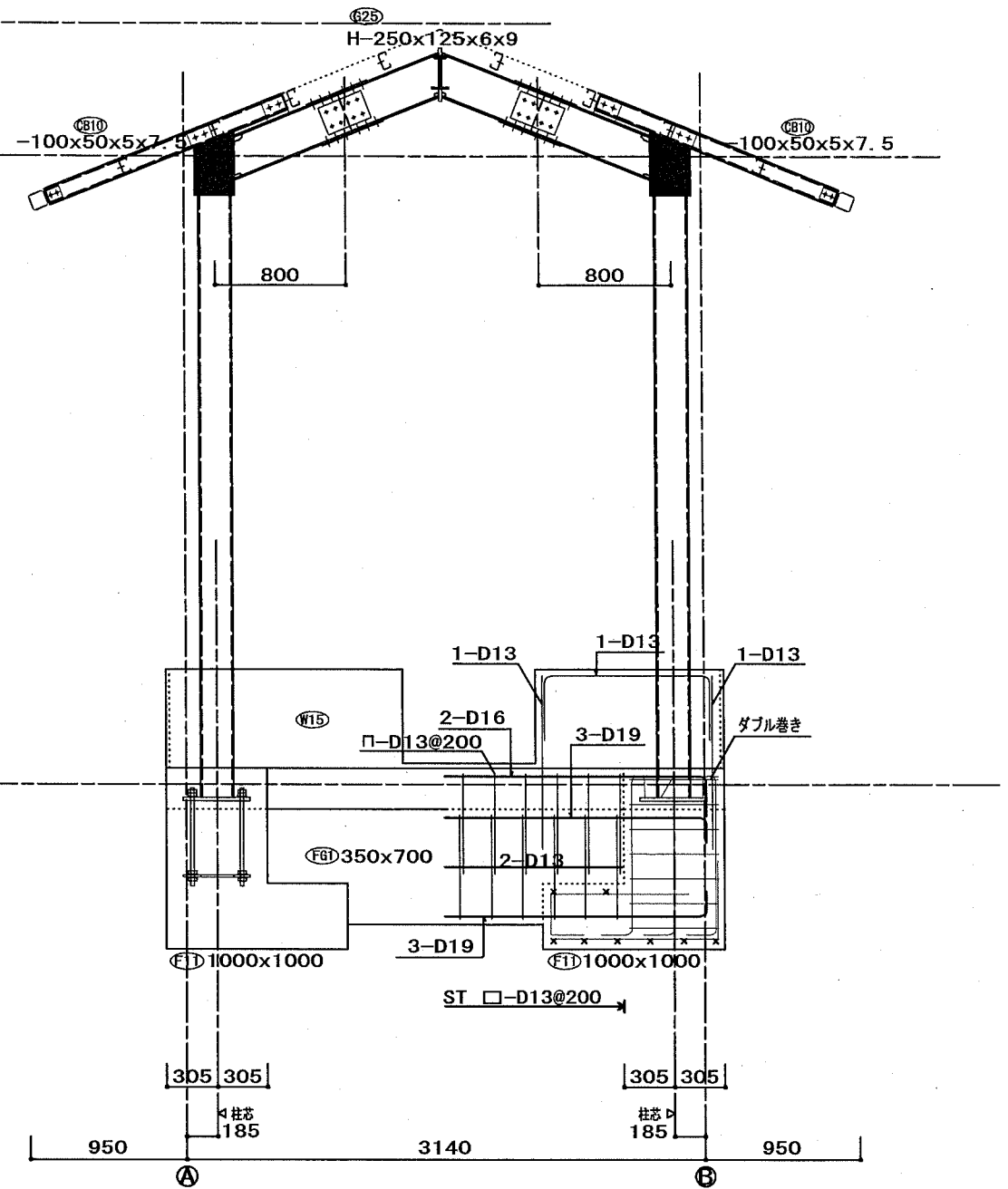
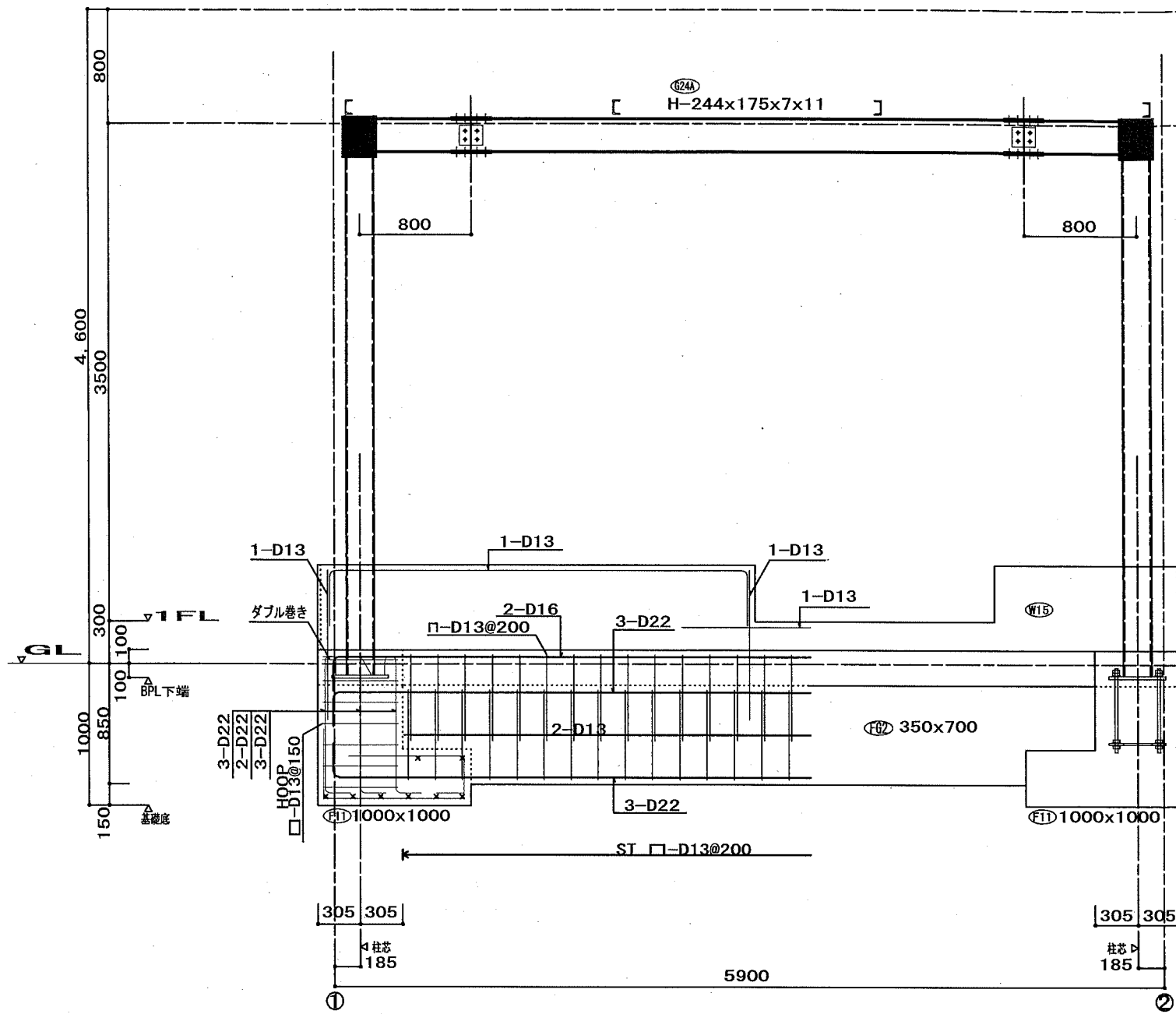
横須賀市上下水道局技術部水道施設課

計画課 私有 無

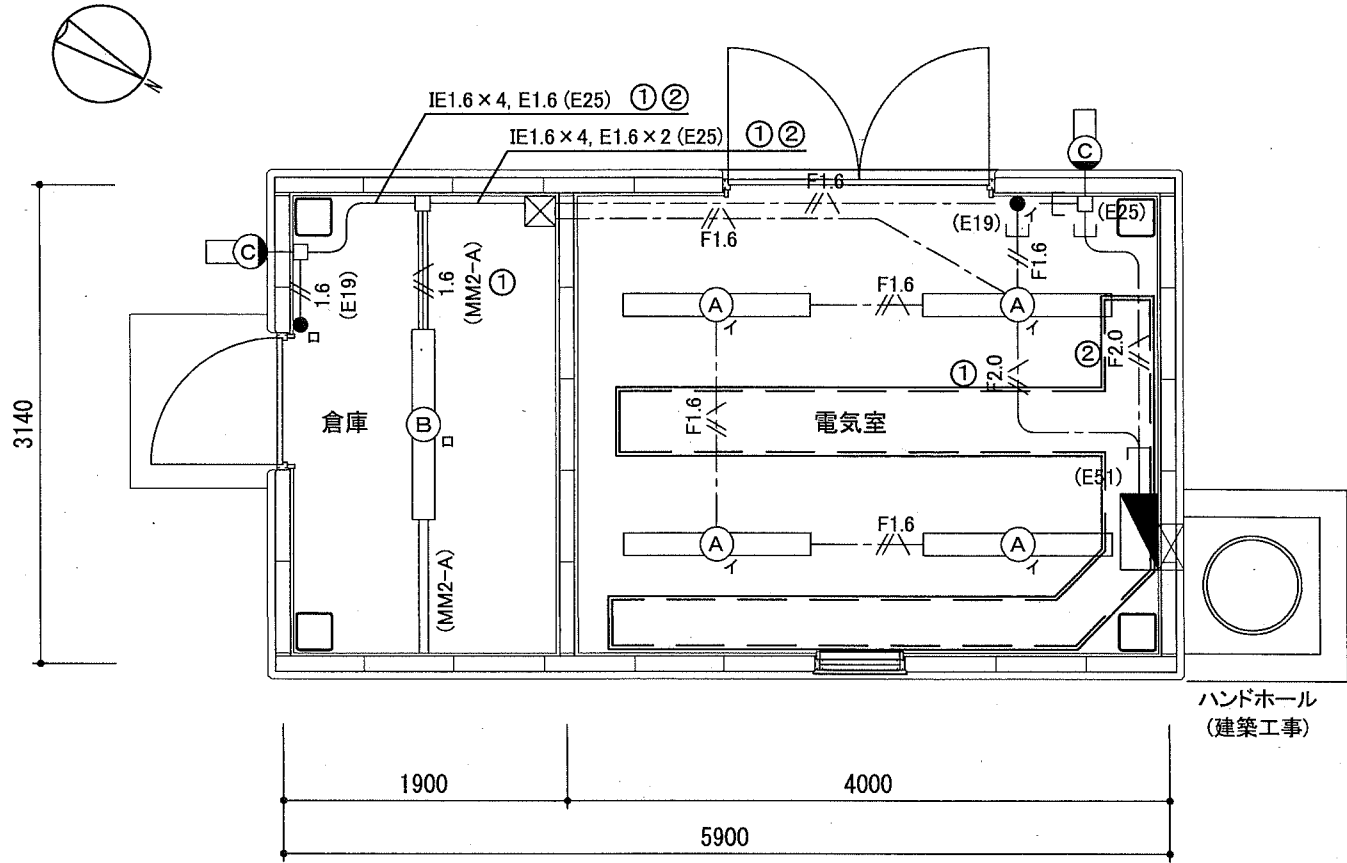
原紙用紙サイズ A1

B通 詳細図 1:20

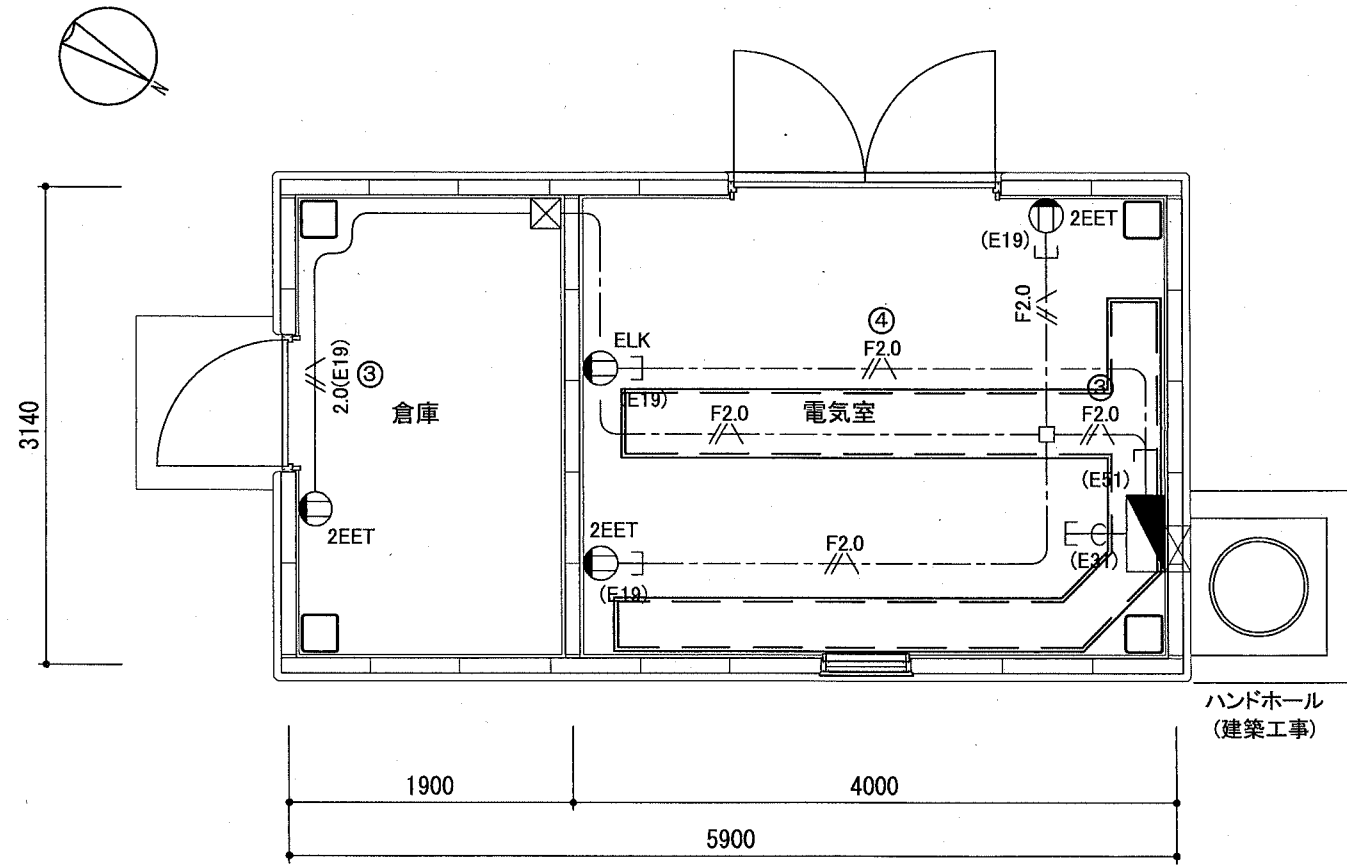
1通 詳細図 1:20



設計	図 22/23
工事名	久里浜配水池電気室新築工事
工事場所	横須賀市久比里2丁目517番地2
図面名称	電気室 詳細図
図面番号	久比里-18C4
施工業者	
令和元(2019)年 8月	
課長	
原紙用紙サイズ	A1
計画課	私道 無



電灯設備配線図 1:50



コンセント設備配線図 1:50

凡例

図中特記無き記号は以下の通り

- F1.6 EEF1.6-2C (天井隠蔽)
- F1.6 EEF1.6-3C (天井隠蔽)
- F2.0 EEF2.0-3C (天井隠蔽)
- 1.6(E19) IE1.6x2 (E19)
- 1.6(MM2-A) IE1.6x2, E1.6 (2種金属線び A型)
- 2.0(E19) IE2.0x2, E1.6 (E19)
- (E31) 空配管 (E31 導入線入り)
- 引込分電盤 ※仕様は別図「引込分電盤仕様」を参照のこと
- 照明器具A LSS9-2350LM (公共型番)
- 照明器具B LSS1-4900LM (公共型番)
- 照明器具C 一体型LEDブラケット 器具光束1400lm以上  
防雨型 ステンレス製 あかり・人感センサー内蔵型
- タンプスイッチ 1P15A×1 ネーム付
- コンセント 2P15A×1 “2”は2口(2P15A×2)
- “E”は接地極付 “ET”は接地端子付 “LK”は抜止
- プルボックス 鋼板製 ET付 (参考寸法:W300×D300×H200)
- ジャンクションボックス

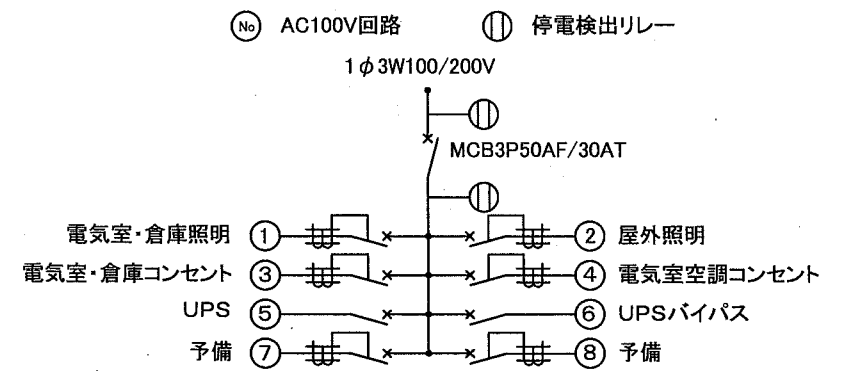
注記

- ・引込分電盤の立上り電線管(E51)及び倉庫のプルボックスは、電灯回路及びコンセント回路と共有する。
- ・露出配管やボックス等は取付壁面と同色塗装とする。
- ・電気設備機器取付用の壁補強及び点検口取付は建築工事による。

■引込分電盤仕様

屋内壁掛型 鋼板製 露出形 標準色塗装(マンセル値5Y7/1)  
参考寸法:W600×H800×D250

- 主幹: MCB3P50AF/30AT(トリップ接点付)×1
- 分岐: MCB2P50AF/20AT(100V、トリップ接点付)×2
- ELB2P50AF/20AT(100V、トリップ接点付)×6
- 停電検出リレー: 100V補助継電器(LED)×2
- 端子台: 1式(入出ケーブル、外部警報接点:主幹断・分岐断・停電)



設計図 23/23	
工事名	久里浜配水池電気室新築工事
工事場所	横須賀市久比里2丁目517番地2
図面名称	電気室 電気設備配線図
図面番号	久比里-18C4
施工業者	
令和 元(2019)年 8月	
課長	
横須賀市上下水道局技術部水道施設課	
計画課	私道無

原紙用紙サイズ A3